楽天証券株式会社
2021年12月期 上半期決算説明資料

2021年8月3日

楽天証券株式会社

Rakuten 楽天証券

目次

1. 2021年12月期 上半期　決算概要
2. 2021年12月期 上半期　事業の状況
3. 戦略・施策

1. 2021年12月期 上半期　決算概要

2021年12月期 上半期　連結業況

■ 営業収益は新規口座の拡大やコロナ禍でのマーケットのボラティリティ上昇により、前年同期比で+29.1%

（単位：百万円）

	2020年12月期上半期 （2020年1月～2020年6月）	2021年12月期上半期 （2021年1月～2021年6月）	前年同期比 増減率
営業収益	34,211	44,159	+ 29.1 %
純営業収益	33,096	41,881	+ 26.5 %
販売費・ 一般管理費	25,894	33,433	+ 29.1 %
営業利益	7,202	8,447	+ 17.3 %
経常利益	7,205	9,036	+ 25.4 %
当期純利益	4,813	5,248	+ 9.0 %

2021年12月期 上半期　連結販売費・一般管理費

■ 新規顧客獲得に注力。取引関係費が先行し前年同期比で大きく増加

（単位：百万円）

	2020年12月期上半期 （2020年1月～2020年6月）	2021年12月期上半期 （2021年1月～2021年6月）	前年同期比 増減率
販売費・一般管理費	25,894	33,433	+ 29.1 %
取引関係費	12,773	18,471	+ 44.6 %
（うち広告宣伝費）	2,849	4,623	+ 62.3 %
人件費	2,688	3,021	+ 12.4 %
不動産関係費	906	953	+ 5.2 %
事務費	5,098	6,172	+ 21.1 %
減価償却費	3,532	3,870	+ 9.6 %
その他	895	943	+ 5.4 %

2021年4月～2021年6月　主要オンライン証券　業績比較

（単位：百万円）

	楽天証券	SBI証券	松井証券	マネックスG	auカブコム証券
営業収益	20,524	40,431	7,476	7,751	4,877
前年同期比	+21.1%	+14.3%	+4.4%	+6.5%	▲1.3%
販管費・一般管理費	16,541	24,432	4,122	6,036	3,065
前年同期比	+26.8%	+20.4%	+7.0%	+4.5%	▲23.2%
営業利益	2,809	13,734	3,060	1,337	1,138
前年同期比	▲15.1%	+8.3%	+2.8%	+29.3%	+1969.1%
経常利益	3,063	13,803	3,103	2,139	1,164
前年同期比	▲7.7%	+8.3%	+2.3%	+86.5%	+1808.2%
当期純利益	1,671	9,441	3,954	1,399	795
前年同期比	▲21.6%	+3.7%	+87.6%	+88.8%	▲390.1%

*出所：各社開示資料より当社にて集計

*マネックスGは日本セグメント数値。比較目的の為、営業利益は「営業利益相当額」、経常利益は「税引前四半期利益」を記載

2021年4月～2021年6月　主要オンライン証券　主要指標比較

	楽天証券	SBI証券	松井証券	マネックスG	auカブコム証券
株式売買代金（単位：十億円）	24,766	35,574	9,055	4,197	7,144
前年同期比	+0.7%	▲3.5%	▲1.9%	▲18.5%	▲14.8%
信用取引残高（単位：十億円）	717	1,189	326	216	252
前年同期比	+54.8%	+45.9%	+31.3%	+27.8%	+15.1%
投資信託残高（単位：十億円）	2,886	4,134	60	577	205
前年同期比	+105.7%	+60.6%	+166.7%	+40.0%	+32.3%
FX収益（単位：億円）	25	14	2	7	3
前年同期比	▲18.8%	▲7.6%	▲18.0%	▲5.7%	▲32.6%

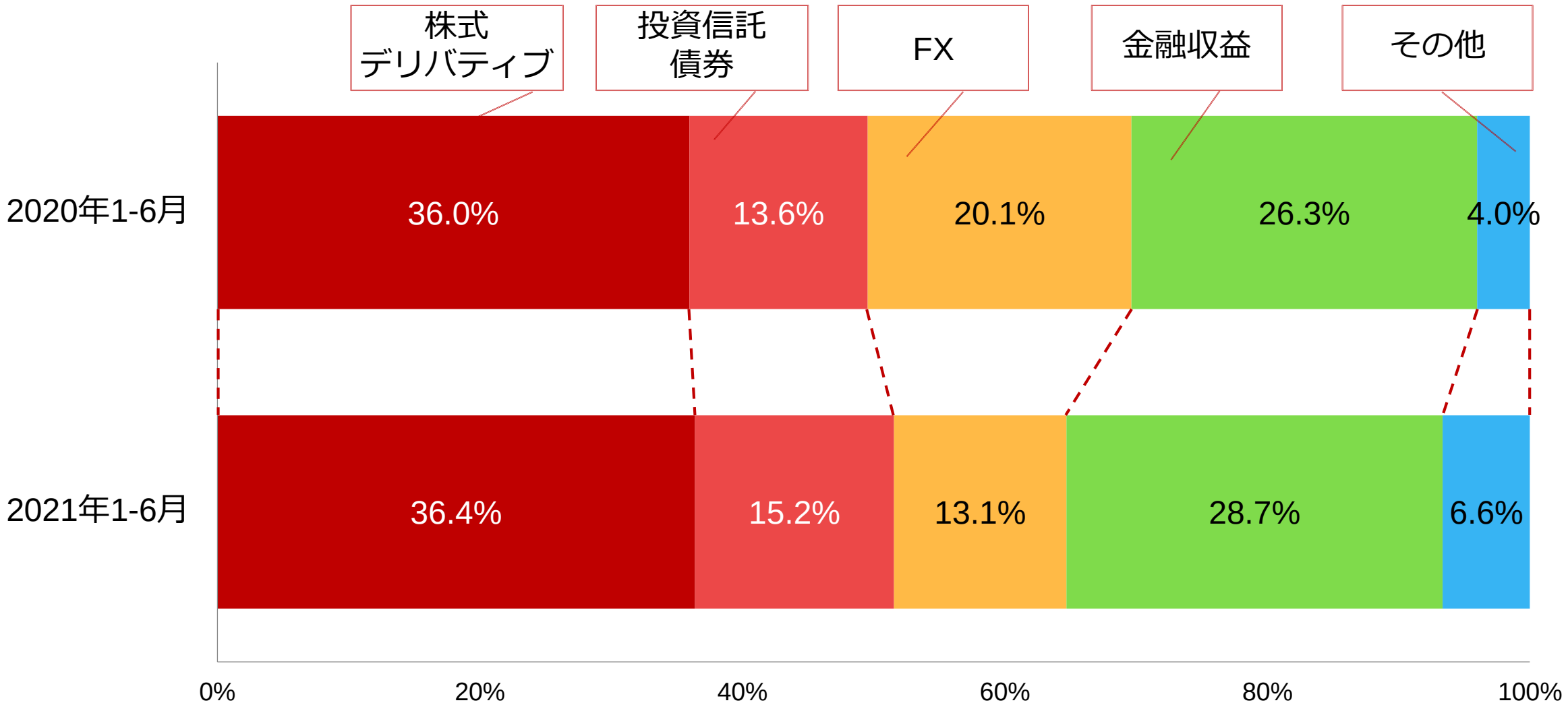
*出所：各社開示資料より当社にて集計

*当社及びSBI証券のFX収益は単体数値、マネックスGは日本セグメント数値

*SBI証券の投資信託残高には、上場投資信託、MMF、中国ファンド及び対面口座分の預かりを含む

**当社投資信託残高は株式投信、国内外ETF 、外貨MMFを含む

収益の分散化状況



*割合は当社単体数値

2. 2021年12月期 上半期　事業の状況

2021年上半期　業績ハイライト

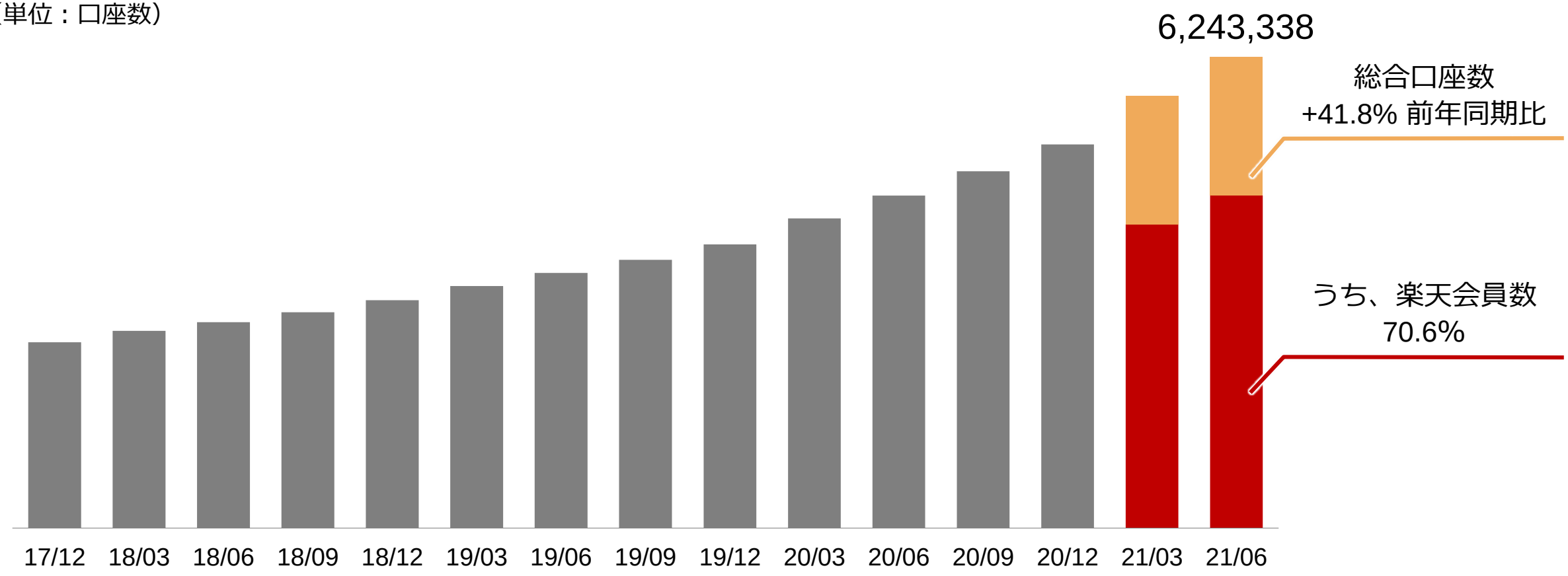
総合口座数	新規口座数	国内株式 マーケットシェア	信用残高	預り資産
624万口座	**116**万口座	**28.3**% （2021年4月～6月）	**7,165**億円	**12.8**兆円
前年同期比 +41.8%	前年同期比 +79.7%	前年同期比 +1.4pts	前年同期比 +54.8%	前年同期比 +62.6%

投資信託残高	投資信託積立設定額	楽天カード クレジット決済	IFA預り資産	マネーブリッジ 利用残高
2.2兆円	月額**588**億円	**100**万人突破	**7,858**億円	**3.2**兆円
前年同期比 +112.9%	前年同期比 +104.7%	※2021年4月時点	前年同期比 +45.3%	前年同期比 +80.6%

総合口座

■ 総合口座数は2021年5月に600万口座を突破し、6月には624万口座に拡大

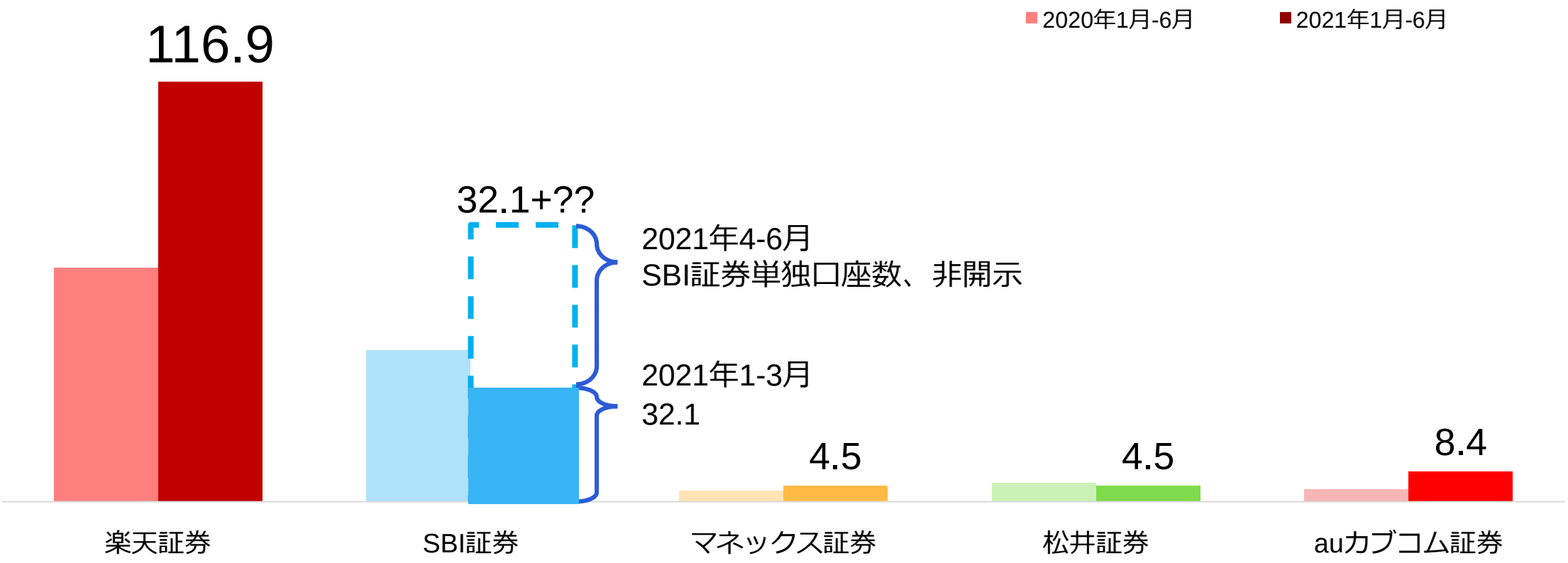
（単位：口座数）



新規口座

■ 2021年1-6月で約116万口座の総合口座を獲得し、顧客基盤がさらに拡大

（単位：万口座）



*出所：各社ホームページ上での開示情報により当社集計

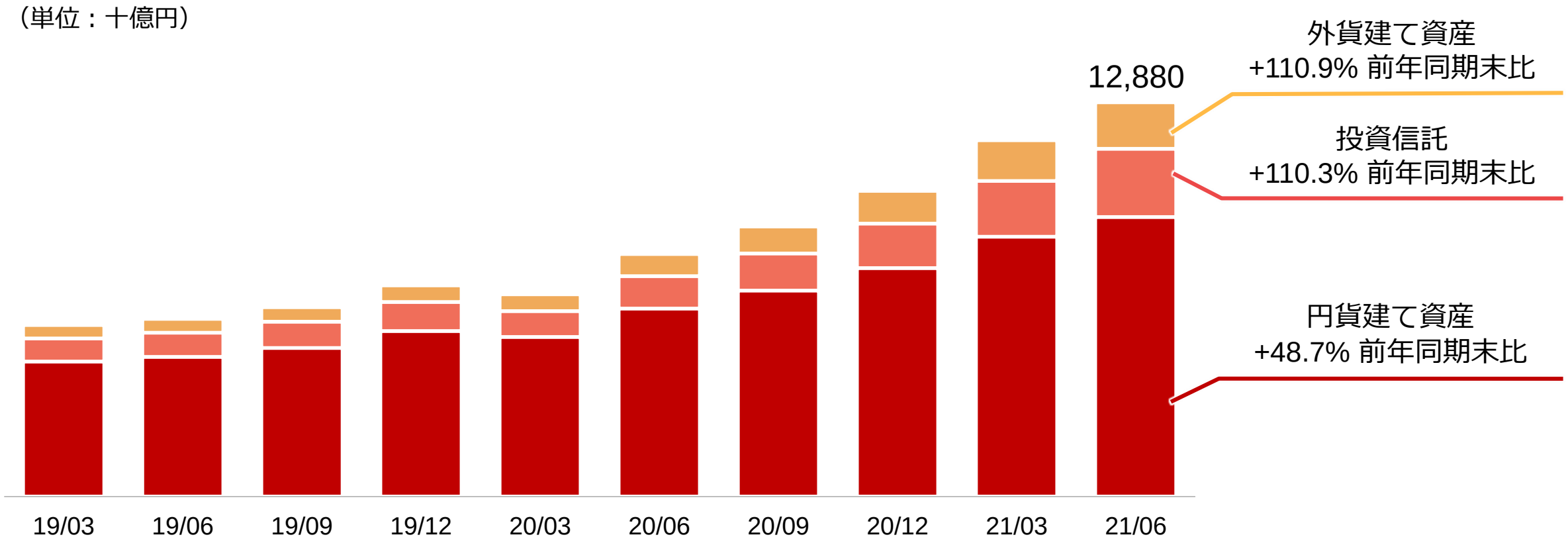
*SBI証券単独の2021年3月末以降の口座数は非開示

*ﾏﾈｯｸｽ証券口座数：証券口座とFX専用口座の合計数

*ﾏﾈｯｸｽ証券と松井証券は公開情報より純増数を記載

預り資産

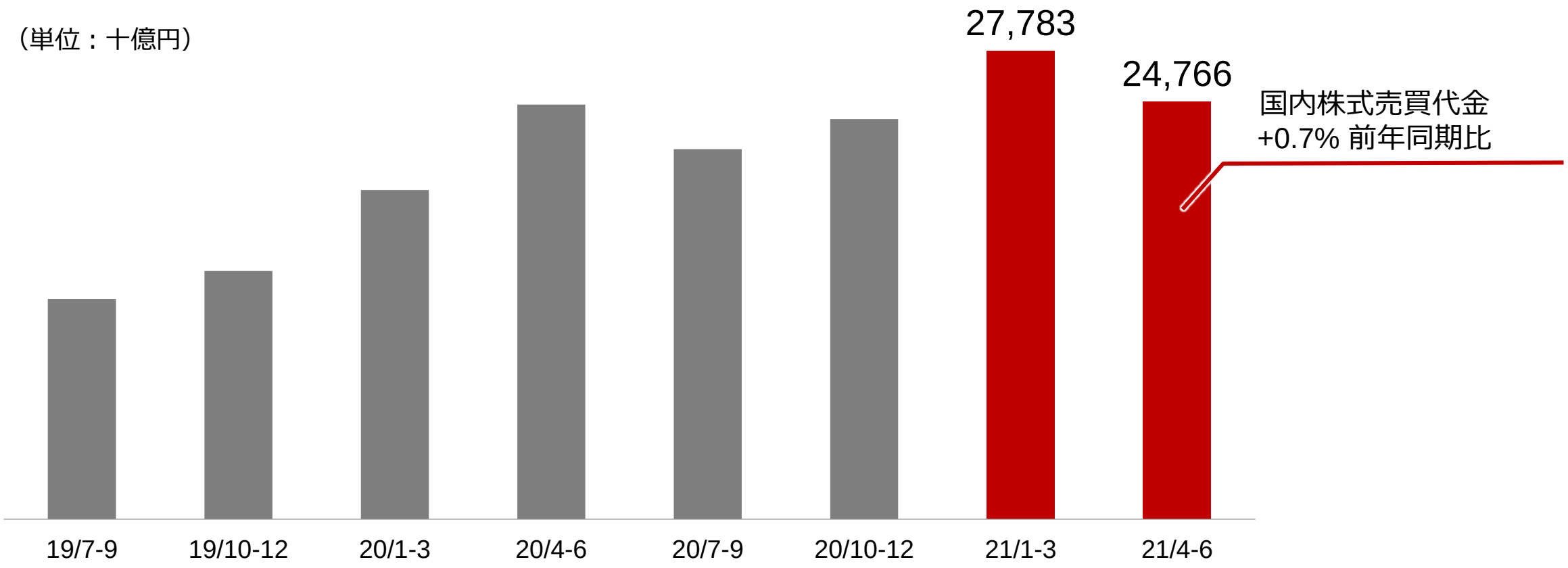
■ 顧客層の拡大や米国株式市況の活況に伴い、預り資産は13兆円に迫り、前年同期末比で+62.6%



*投資信託には外貨建てMMFを含む。*円貨建て資産には投資信託を除く、楽天銀行マネーブリッジ自動スイープ分含む
*外貨建て資産には各種通貨建て預かり金・外国債券・外国株式・海外先物証拠金（ドル建て）を含む

国内株式売買代金

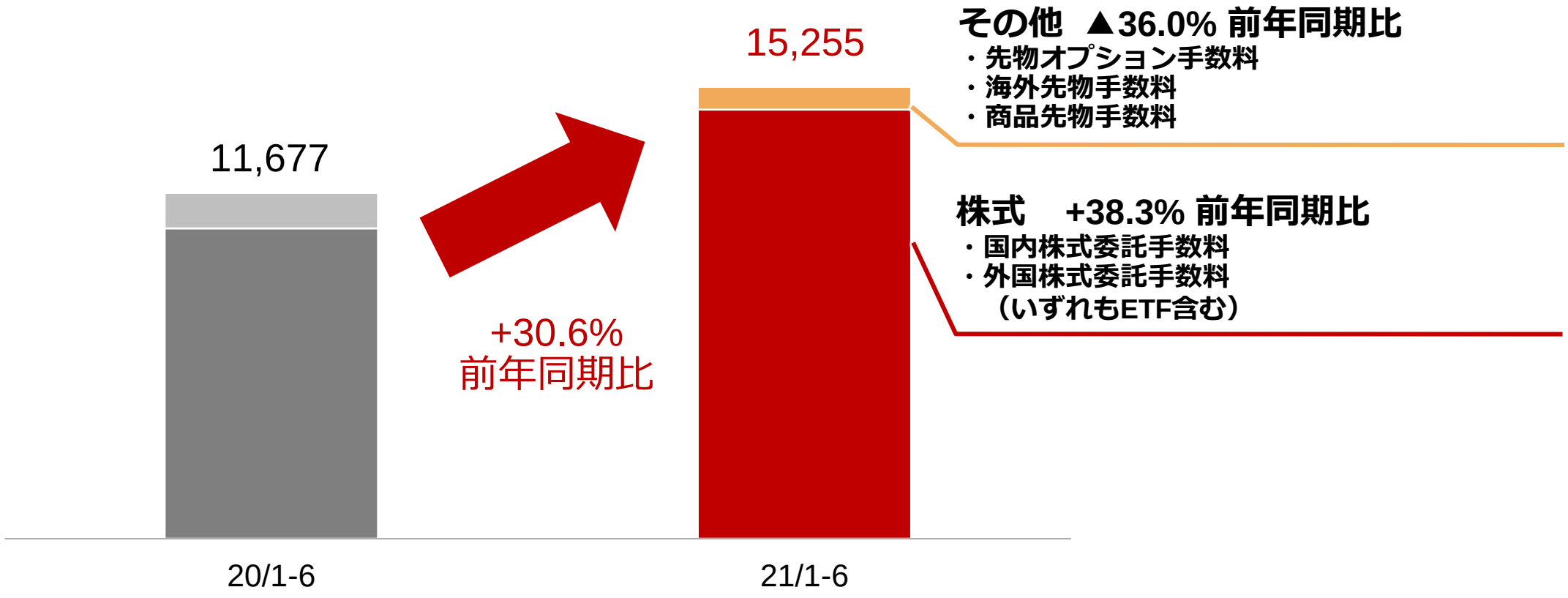
■ 国内株式売買代金は日経平均の上昇の影響もあり、半期での過去最高額を更新



委託手数料

■ 委託手数料は国内株式・外国株式の取引増加により、前年同期比+30.6%

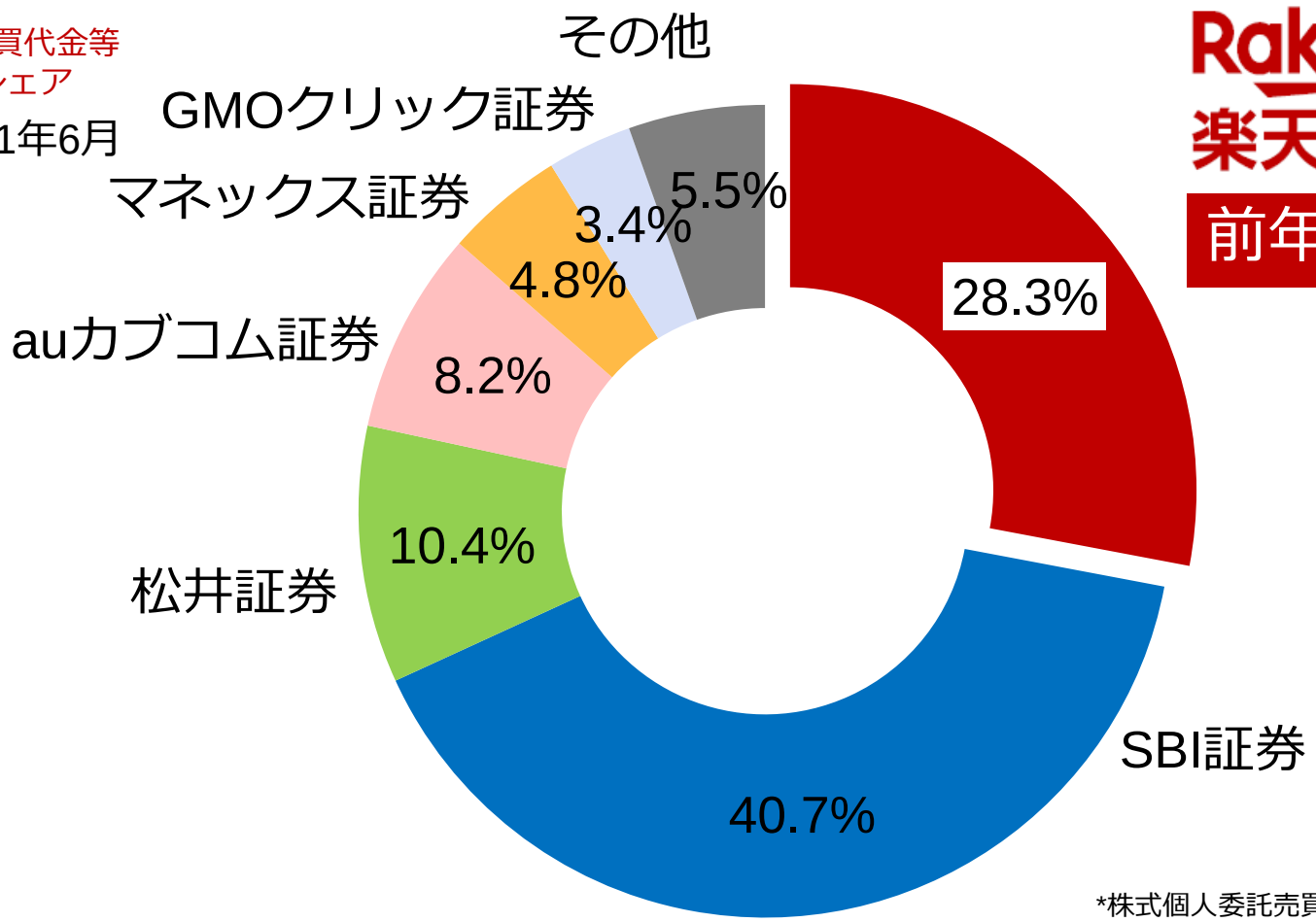
（単位：百万円）



国内株式　委託個人売買代金シェア

■ 国内株式の委託個人売買代金の業界シェアは前年同期の26.9%から28.3%に拡大

二市場の個人委託売買代金等
に対する各社のシェア
2021年4月～2021年6月



Rakuten
楽天証券

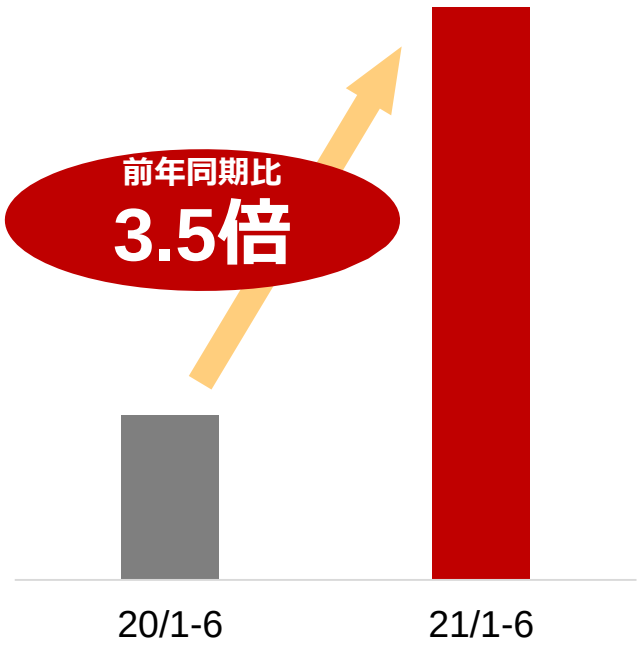
前年同期比 +1.4pts

*株式個人委託売買代金は二市場１，２部等+ETF及びREIT売買代金
*出所：東京証券取引所開示資料及び各社ホームページ上での公開情報により当社集計

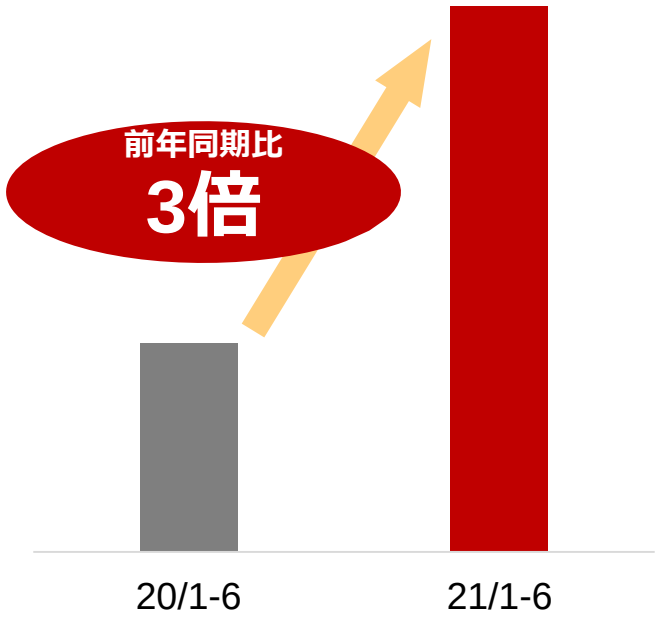
米国株式

- スマートフォン向け株式トレーディングアプリ「iSPEED®」や自動スイープへの対応により、お客様の利便性が大きく向上
- 約定件数、稼働顧客数、収益はそれぞれ前年同期比で大幅に増加

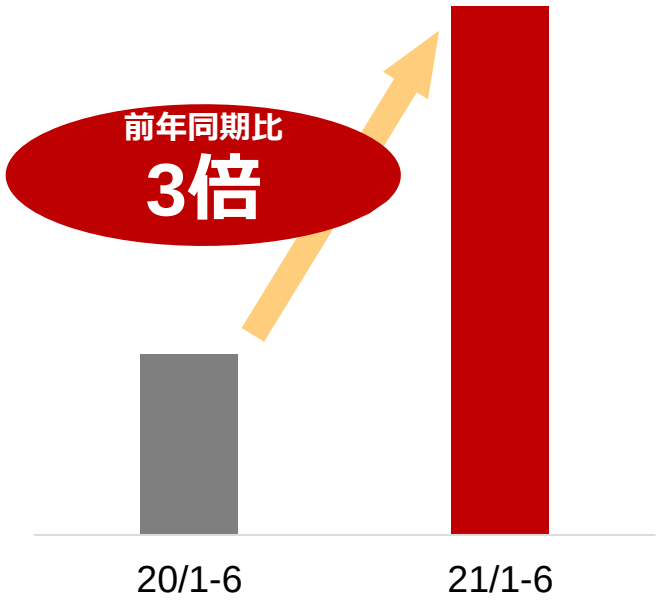
米国株式の約定件数



米国株式の稼働顧客数



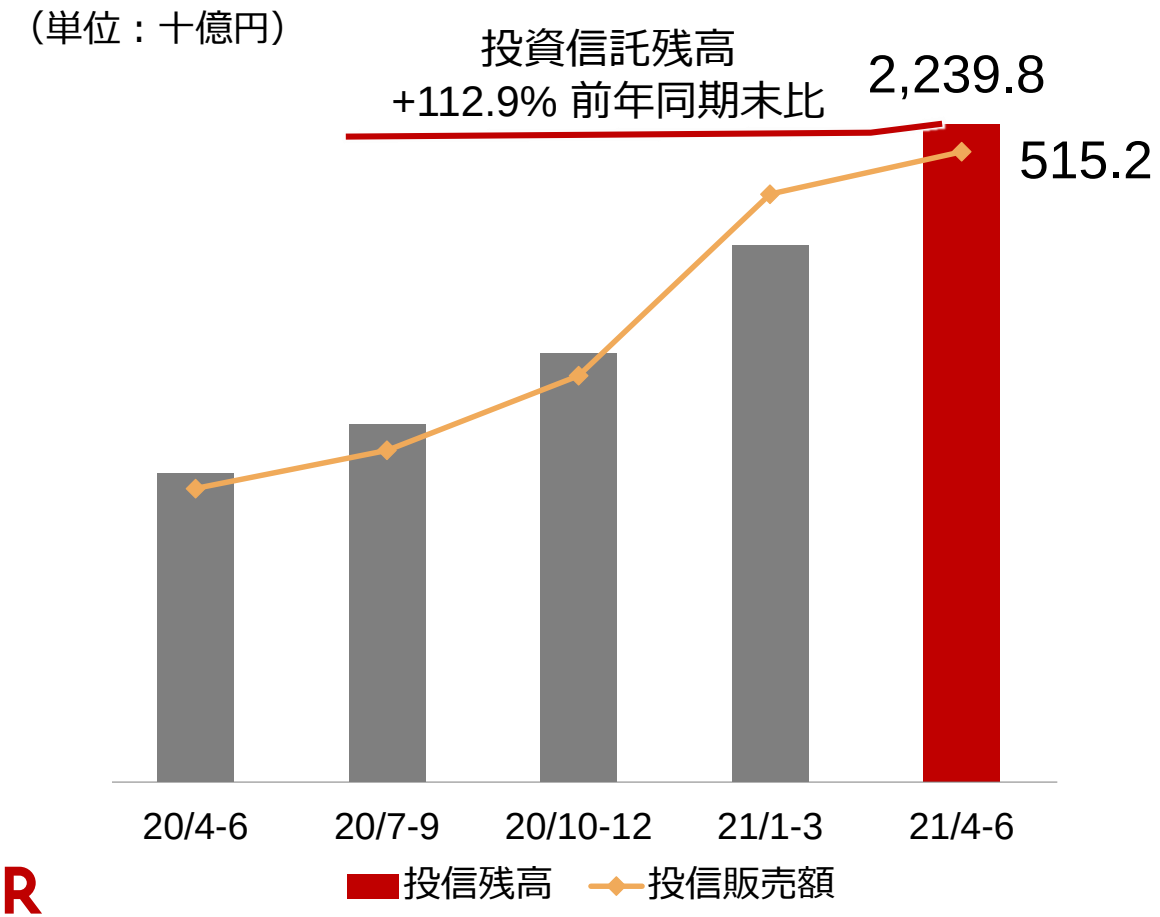
米国株式の収益



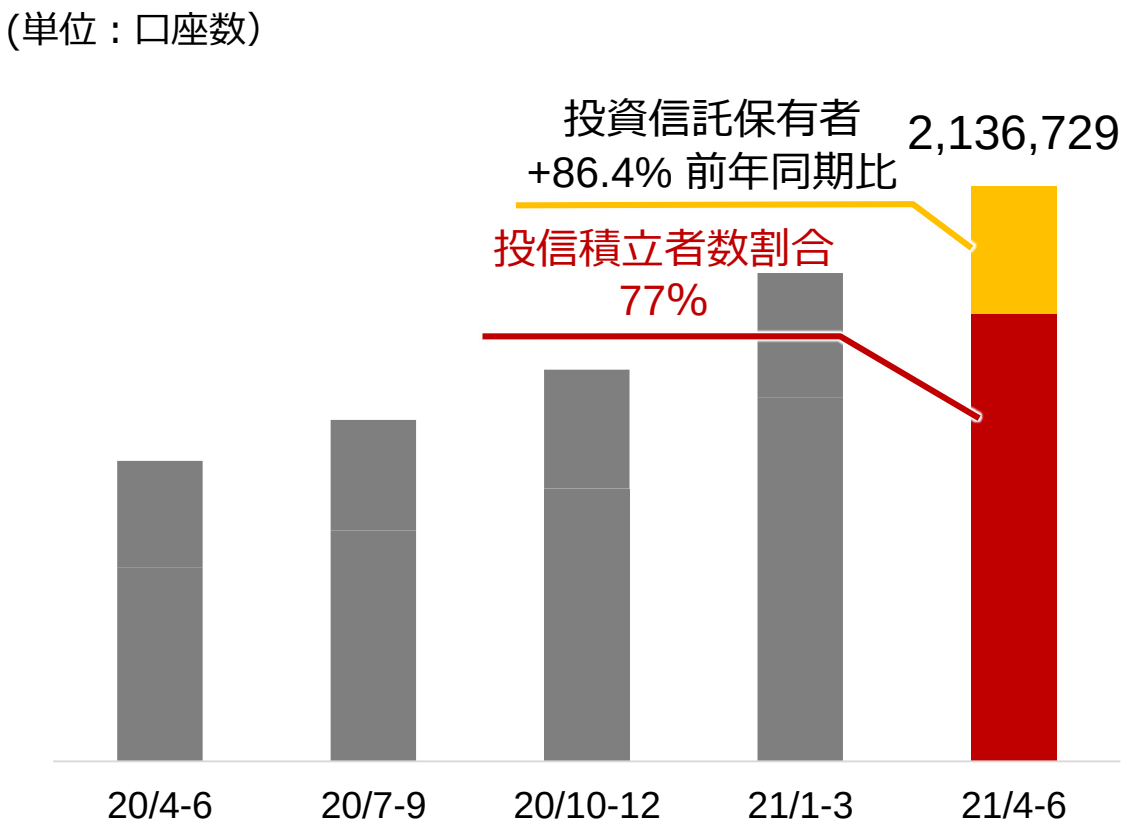
投資信託

- 投資信託残高は堅調に積み上がり、前年同期末比+112.9%
- 投資信託の保有者は210万人を突破。積立設定者数の割合は77%に上る

投資信託残高・販売額



投資信託保有者・積立設定者

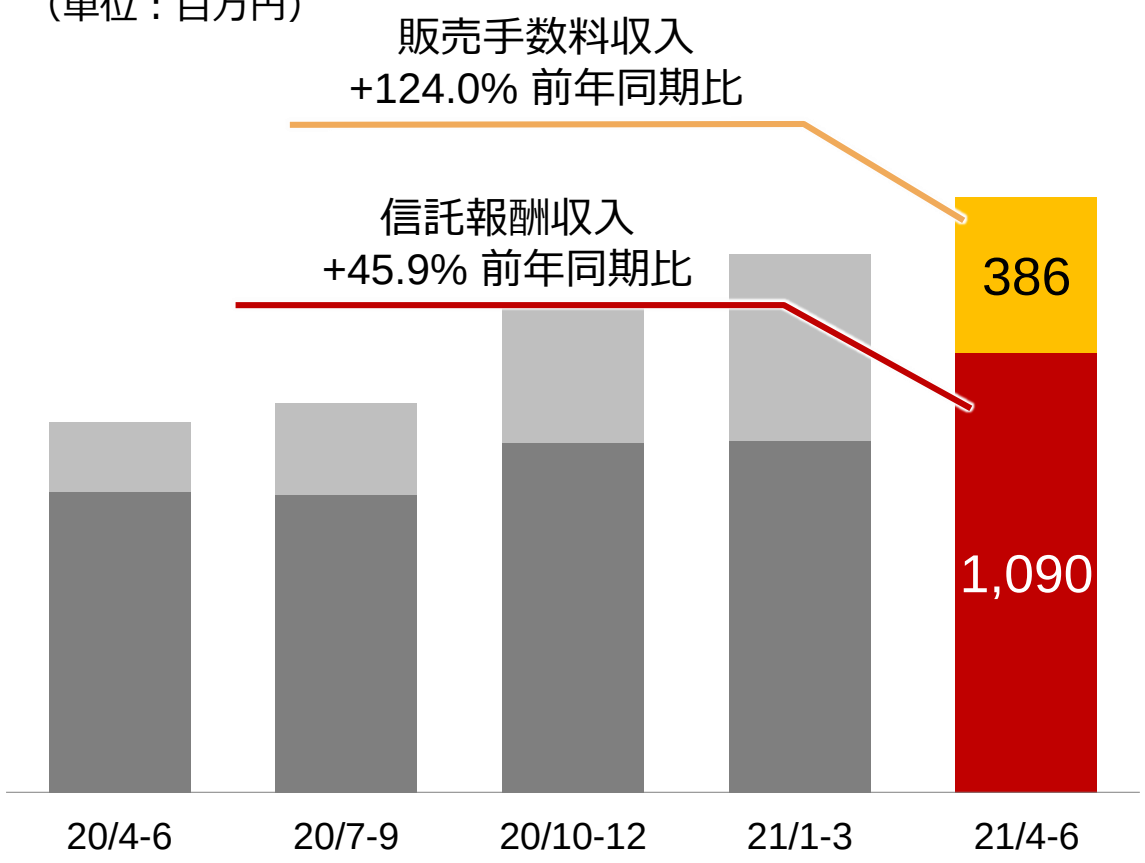


投資信託

■ 投資信託関連収益は残高の堅調な増加により、前年同期比+60.6%

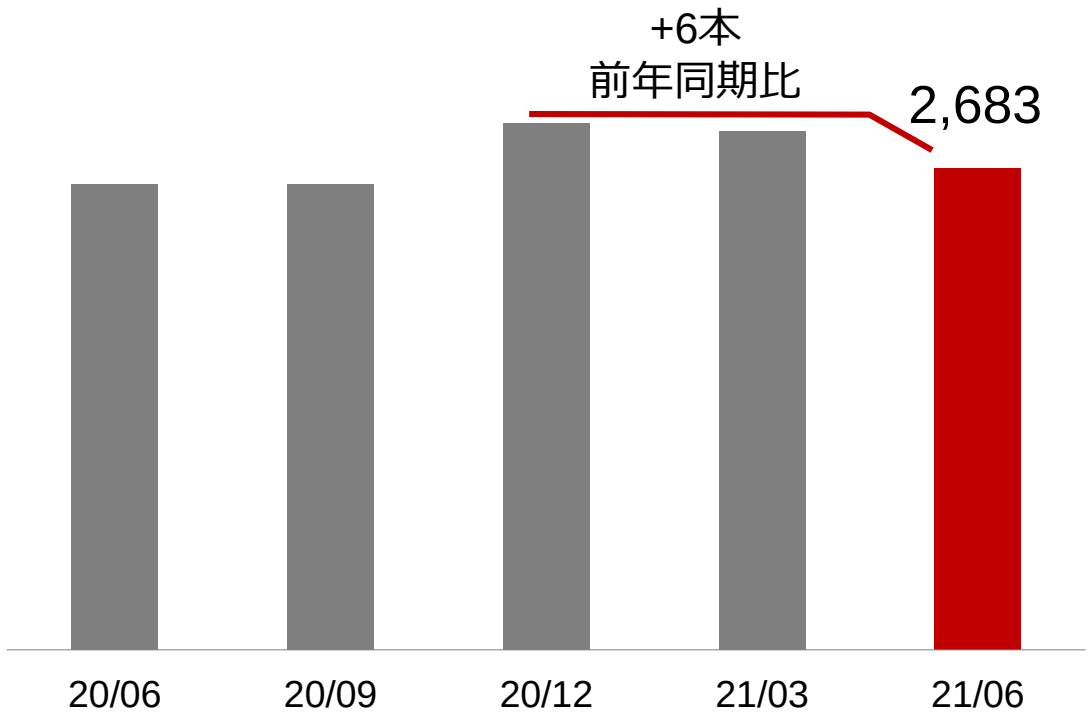
投資信託関連収益

（単位：百万円）



投資信託取扱い本数

（単位：本数）

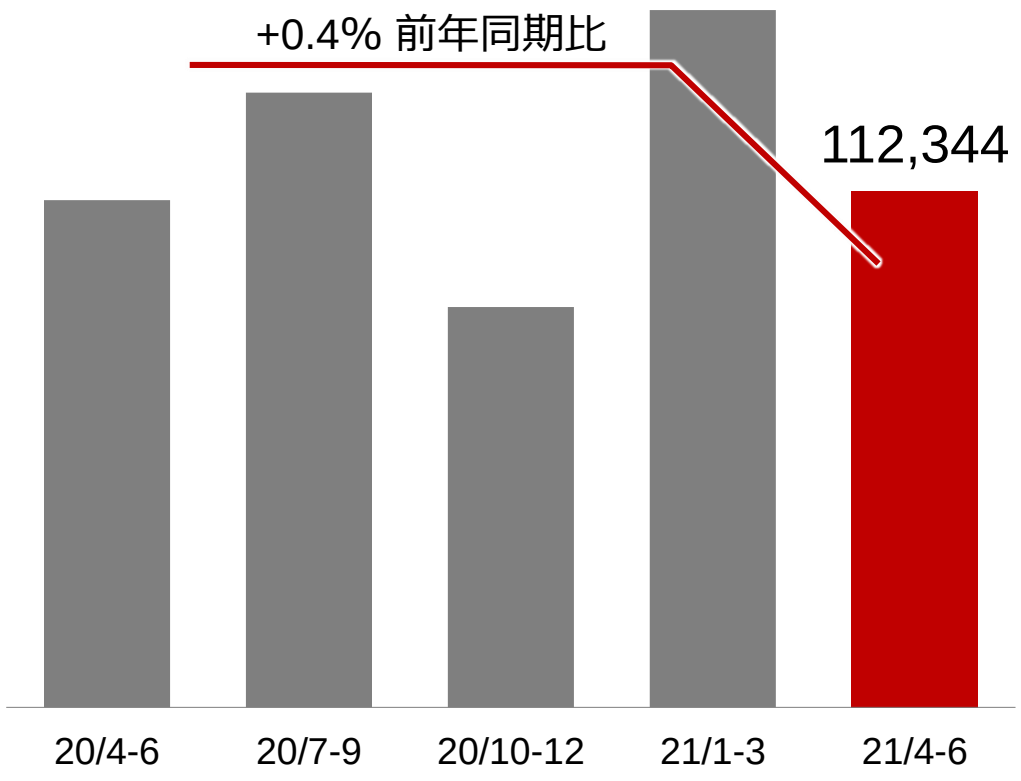


FX

■ FX収益はボラティリティ低下等の影響により、前年同期比▲18.8%

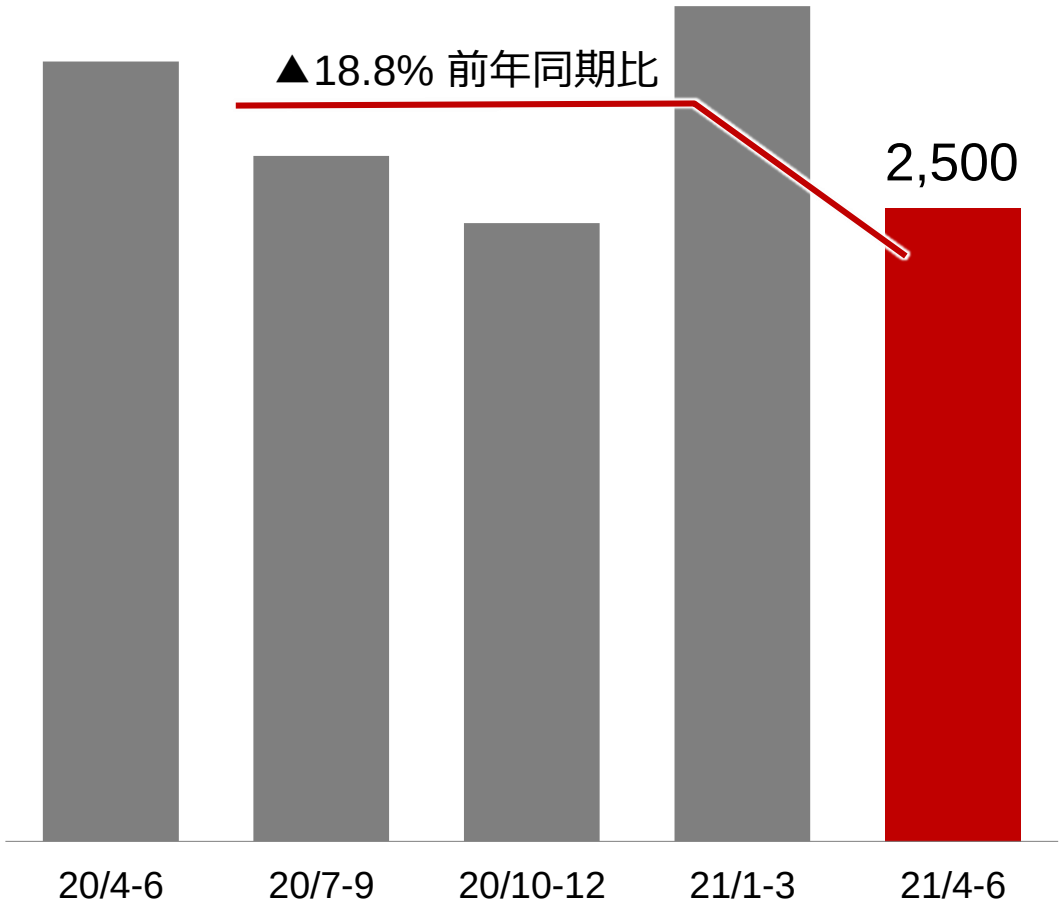
FX売買代金

（単位：十億円）



FX収益

（単位：百万円）

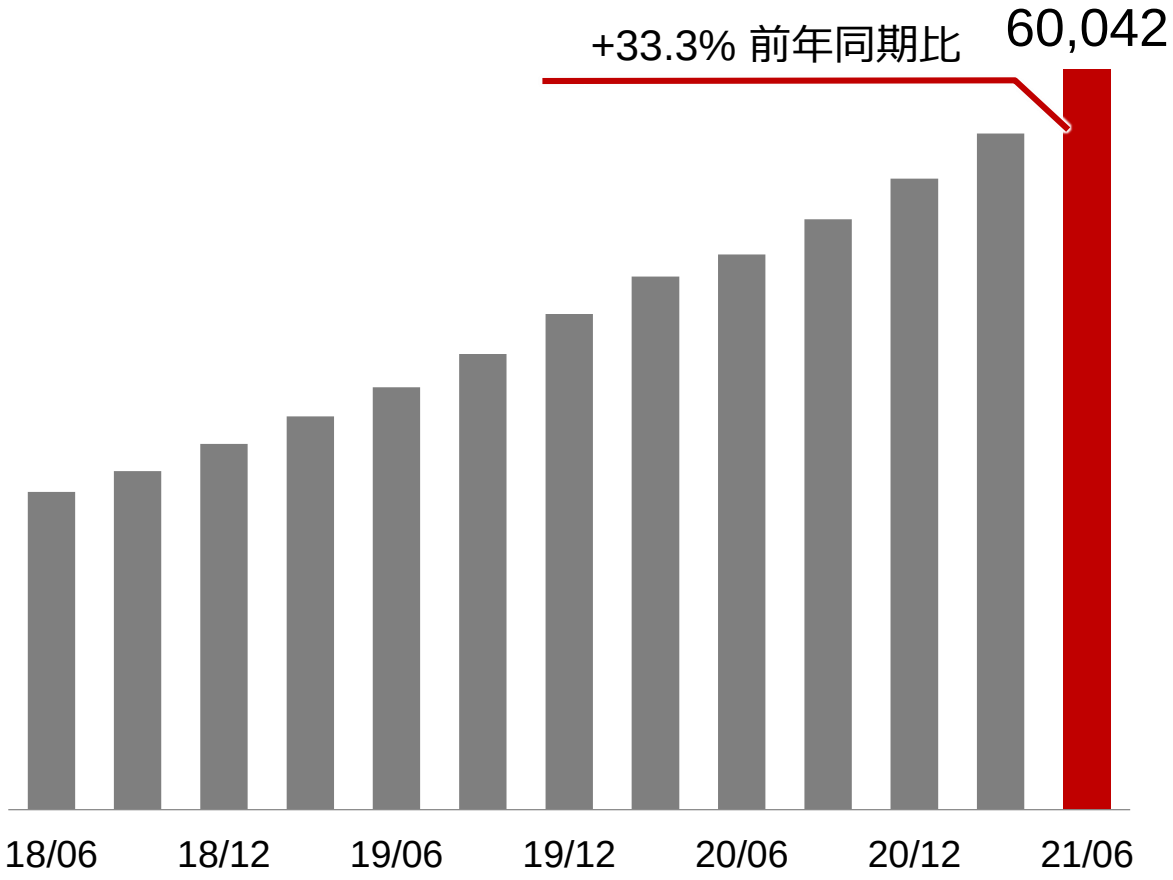


IFAビジネス

■ IFA経由の口座数は順調に増加。顧客預り資産も6月末時点で7,858億円にまで拡大

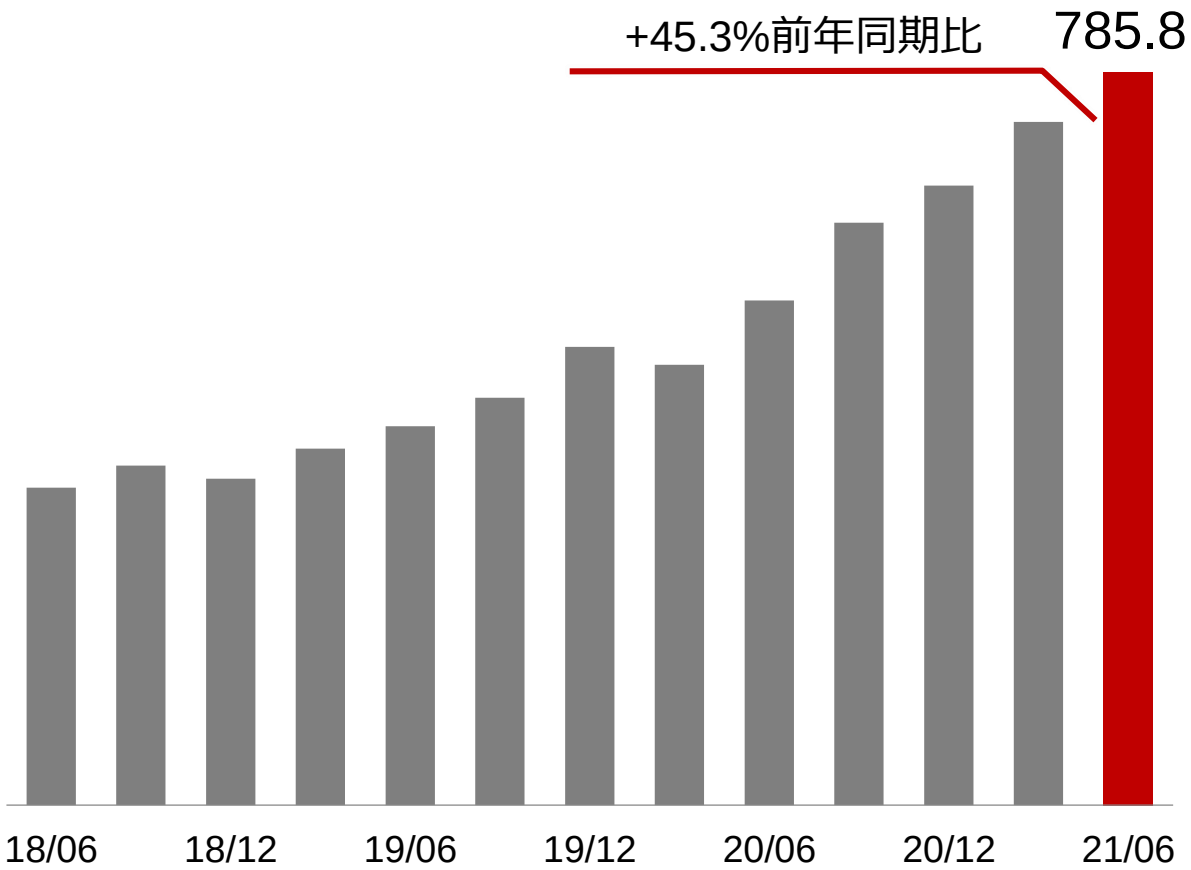
IFA顧客口座数

（単位：IFA顧客口座数）



IFA経由顧客預り資産残高

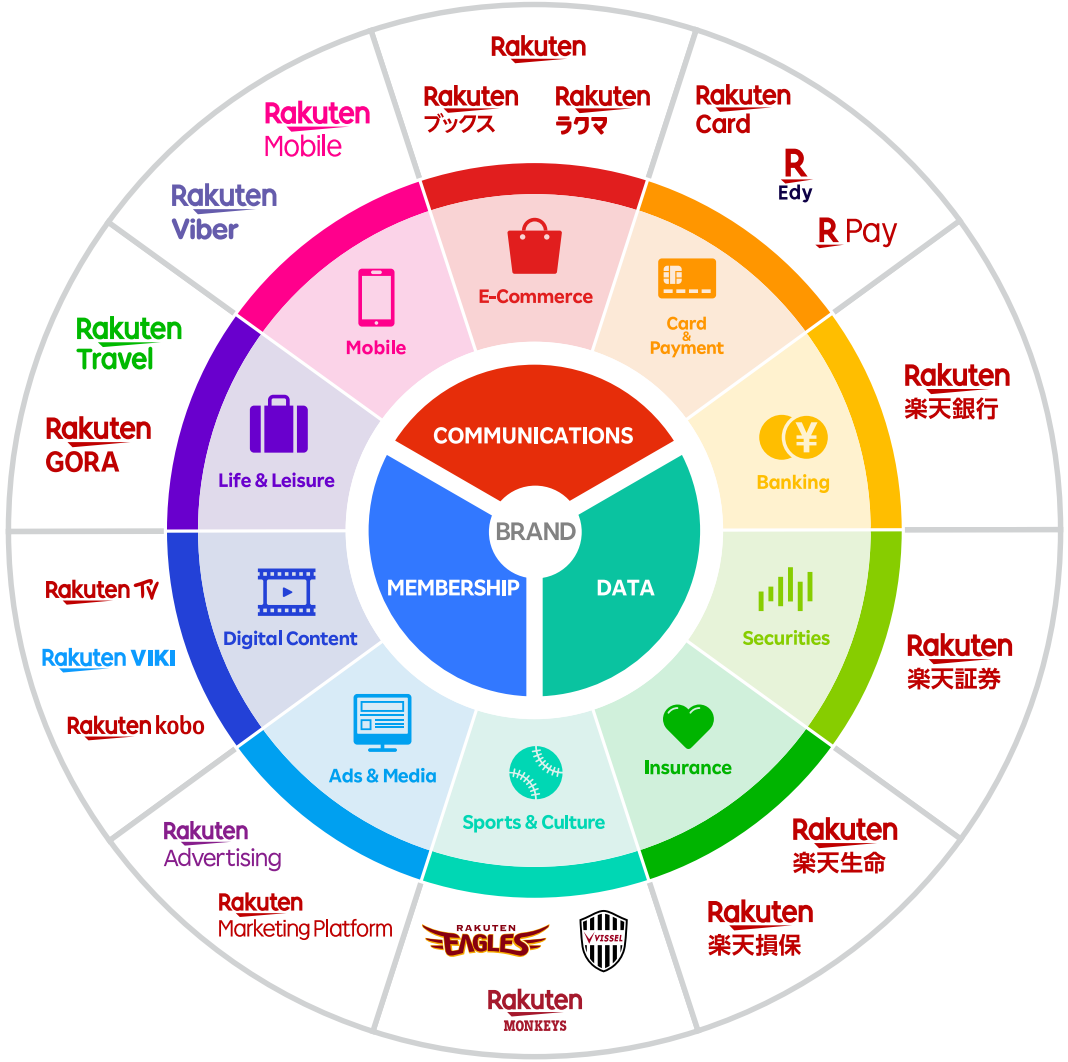
（単位：十億円）



3. 戦略・施策

a.資産形成サービス
b.IFAビジネス
c.トレーディングサービス
d.その他事業に関する参考資料

「楽天ポイント」を軸に「楽天エコシステム」を拡大



楽天会員数

1億超

クロスユース率

73.5%

* 2021年3月末時点

年間ポイント発行数

約4,700億

* 2020年度実績

累計ポイント発行数

2兆
ポイント突破

* 2020年9月末

ポイント消化率

90%以上

「楽天ポイント」は累計発行2兆ポイント突破

総合満足度調査

NO.1*1

・もらって一番嬉しいポイント
・一番使っているポイント
・一番貯めているポイント

2002
「楽天ポイント」
サービス開始

2005
「楽天カード」
発行開始

1,000億

2014
「楽天ポイントカード」
サービス開始

5,000億

2016
「楽天市場」SPU開始
（スーパーポイントアッププログラム）
「楽天ペイ（アプリ決済）」
サービス開始

1兆

2017
「楽天証券」ポイント投資
サービス開始

2018
「ポイント運用 by 楽天PointClub」
サービス開始

2019
「楽天ポイント」が貯まる・使える
保険商品を販売開始

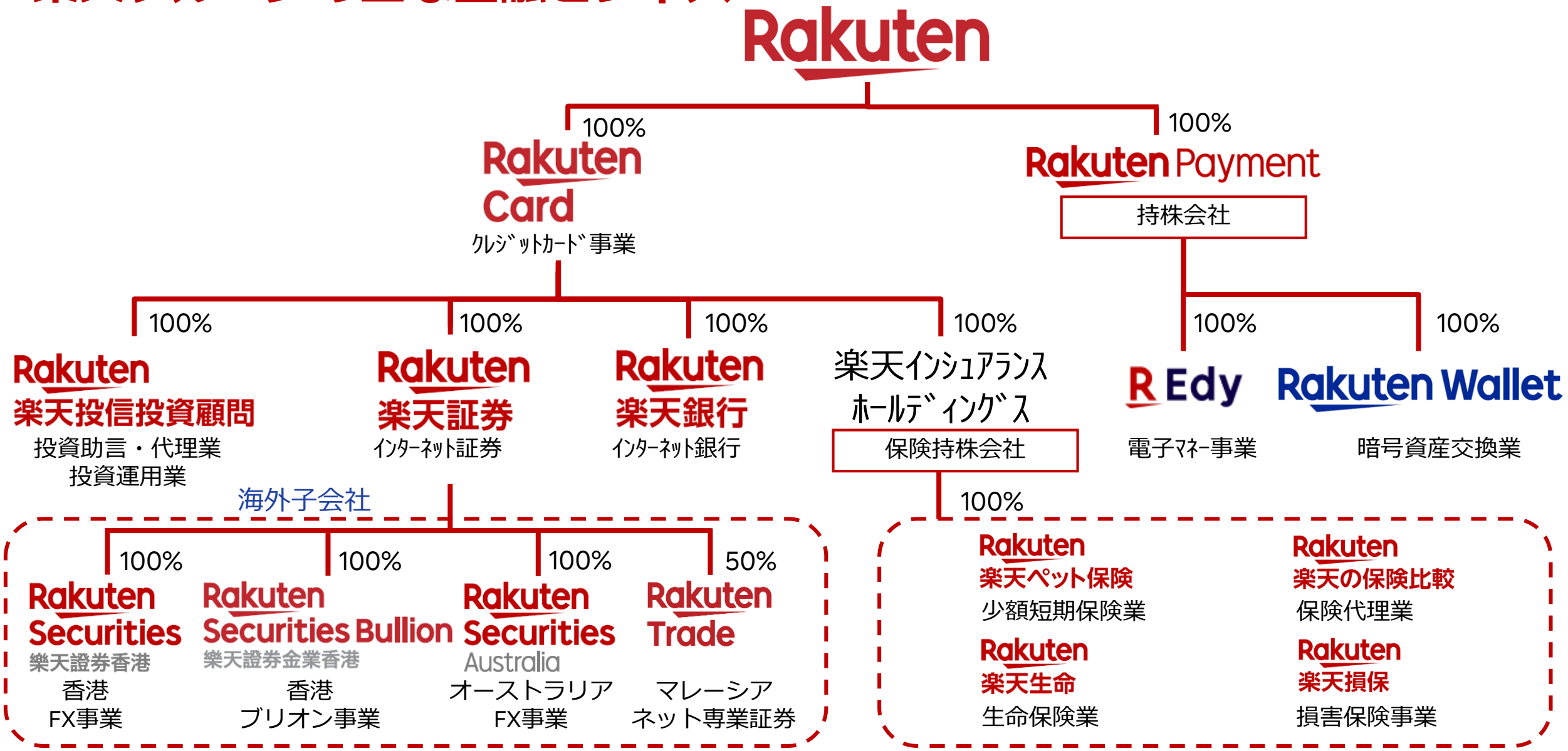
累計発行ポイント 2兆 突破

2002

2020
（9月時点）

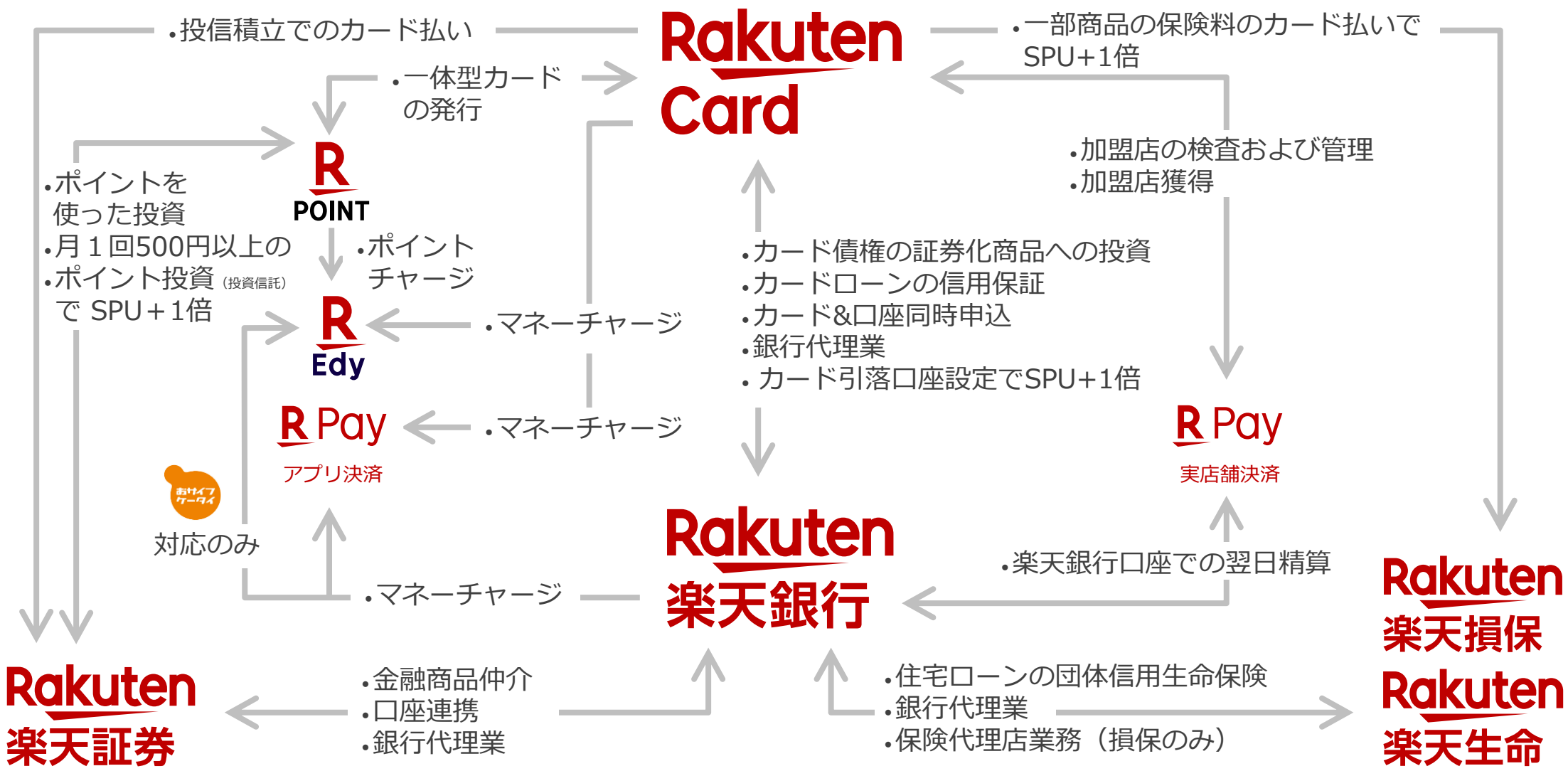
*1 マイボイスコム 2020年7月ポイントに関する調査　*2 楽天ペイ（アプリ決済）、楽天ポイントカード、楽天Ｅｄｙのスマホ決済サービス利用可能箇所　*3 2020年11月末時点

楽天グループの主な金融ビジネス



（2021年6月末現在）

100%子会社だからこそできる楽天のフィンテック経済圏



3. 戦略・施策

a.資産形成サービス

b.IFAビジネス

c.トレーディングサービス

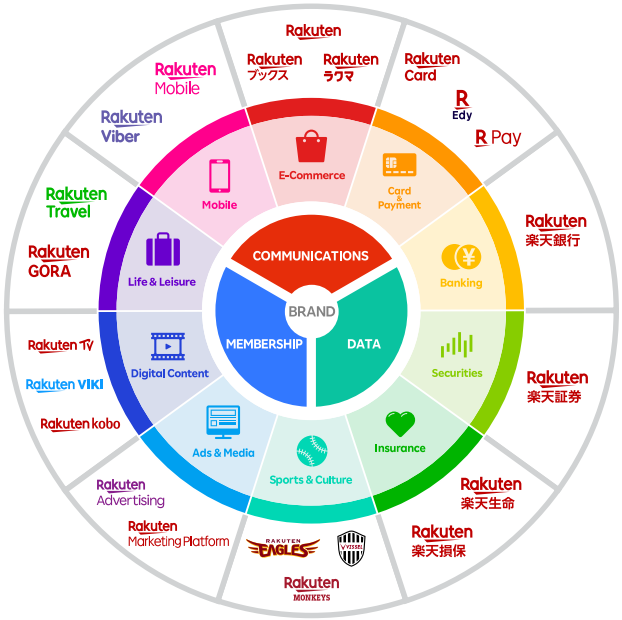
d.その他事業に関する参考資料

資産形成サービスの成長　投信積立、つみたてNISA、iDeCo

■ 投信積立、つみたてNISA、iDeCo、楽天エコシステムを中心に資産形成サービスが大きく成長

投信積立

・積立設定金額：月額588億円（前年同期比 **+104.7%**）
・積立設定口座：164万口座（前年同期比 **+131.3%**）



つみたてNISA

・口座数：147.7万口座
（前年同期比 **+104.7%**）
・国内シェア：33.2%※1

iDeCo

・口座数：42万口座
（前年同期比 **+53.5%**）
・残高：2,782.6億円
（前年同期比 **+109.2%** ）
うち、投資信託は約8割

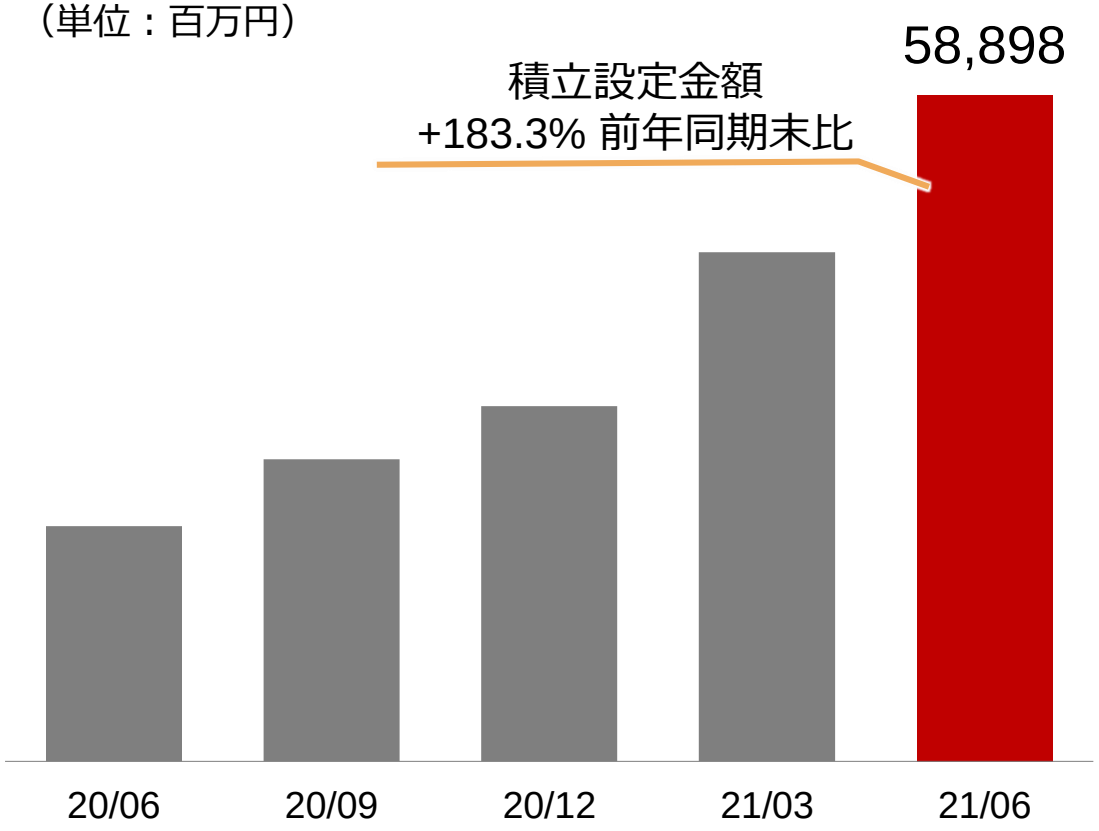
※1：金融庁 NISA・ジュニア NISA 口座の利用状況調査（2021年3月末時点）より算出　※2：投信購入者・積立設定者　※3：2021年4月時点

投資信託　積立の成長

- SPUの参画やクレジットカード決済など楽天グループ連携により大幅増加
- 積立設定金額は前年同期末比で183.3%増、積立設定口座数は前年同期末比で131.3%増

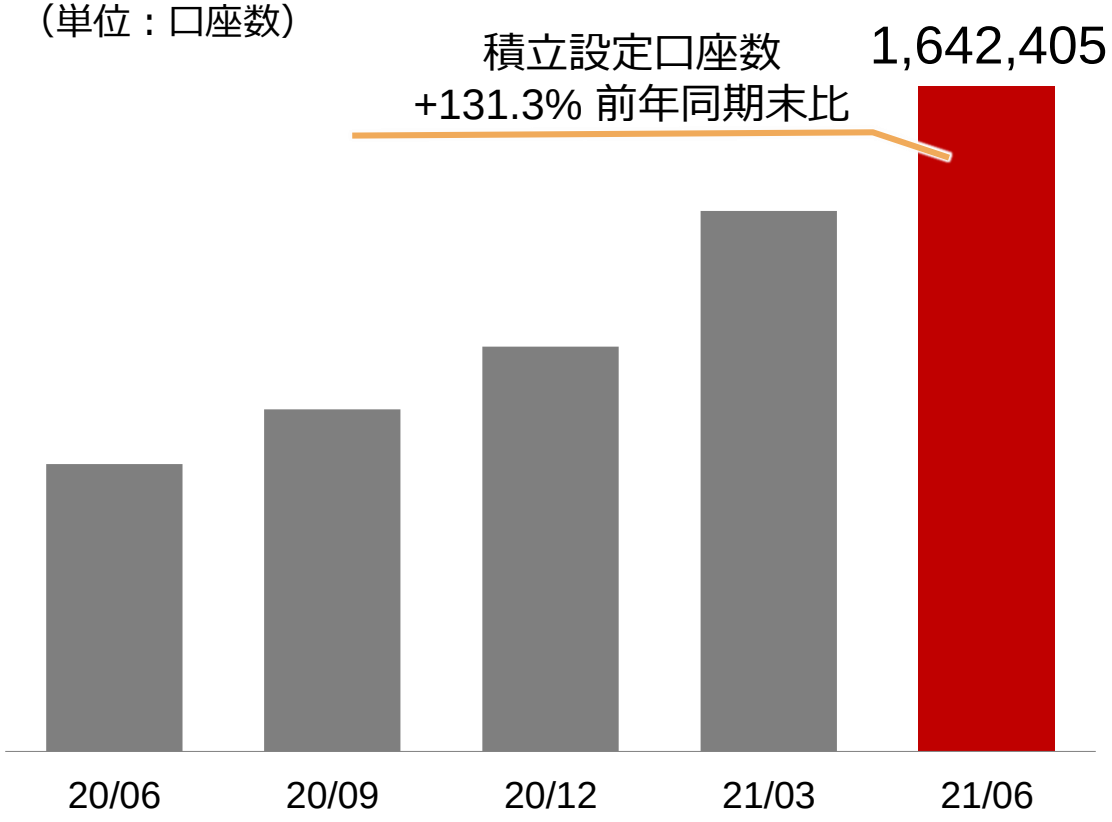
積立設定金額

（単位：百万円）



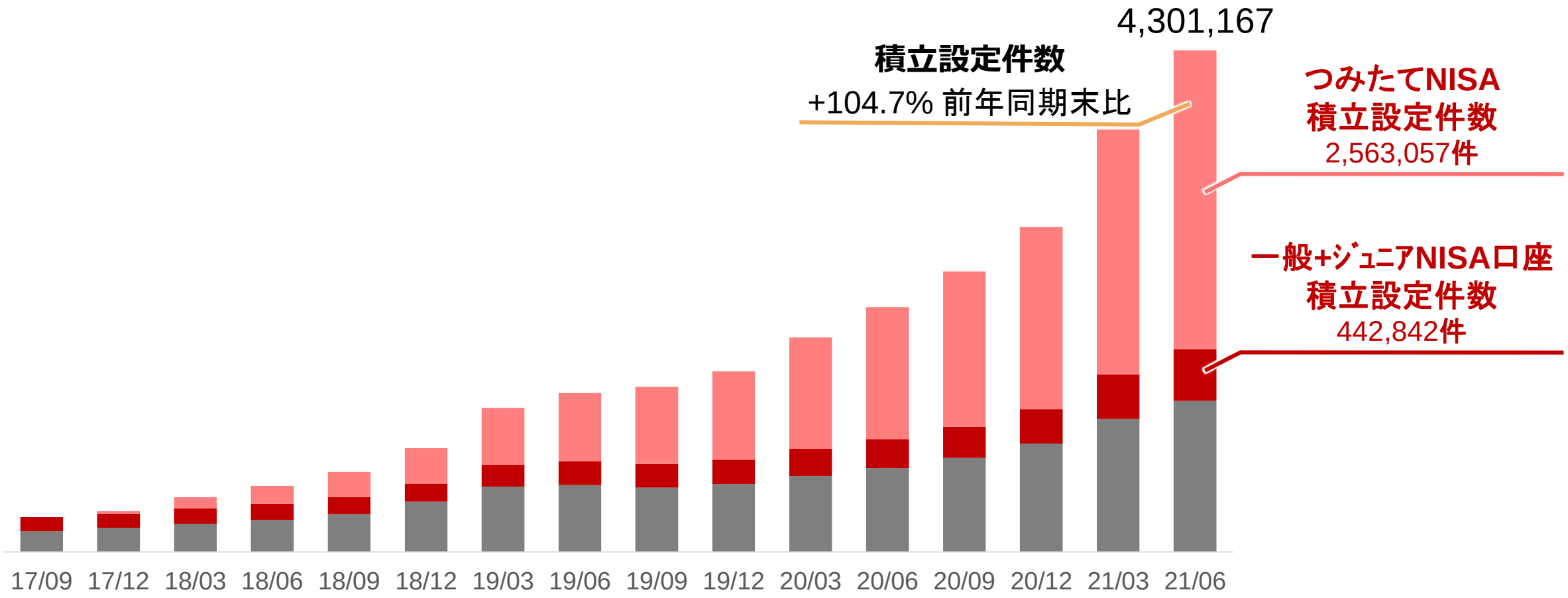
積立設定口座数

（単位：口座数）



投資信託　積立の成長

■ つみたてNISAの成長が著しい。設定件数は前年同期末比+104.7%



*つみたてNISAは「毎日」設定も含む

NISA

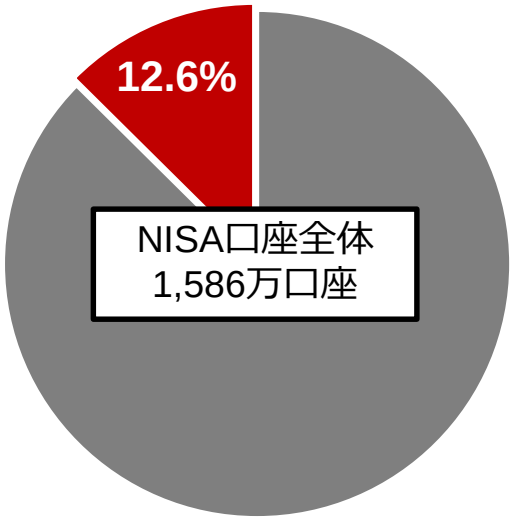
- NISA口座の開設数は順調に増加し、6月末時点で246万口座を突破
- 2020年4月～2021年3月のNISA口座・つみたてNISA口座の増加数で業界No.1※を達成

NISA口座数（2021年6月末）

	NISA口座	つみたてNISA	ジュニアNISA
口座数	2,463,578	1,477,270	157,568
累計稼動口座数 （累計稼働率）	1,704,588 69.2%	1,023,436 69.3%	100,285 63.6%
稼働口座数 （稼働率）	1,511,943 61.4%	1,009,062 68.3%	88,776 56.3%

*NISA口座数はつみたてNISA、ジュニアNISAを含む
*累計稼動口座数は2021年6月末までに取引を行った人数の累計
*稼動口座数は2021年1月から6月末までに取引を行った人数

NISA口座の当社シェア（2021年3月末）



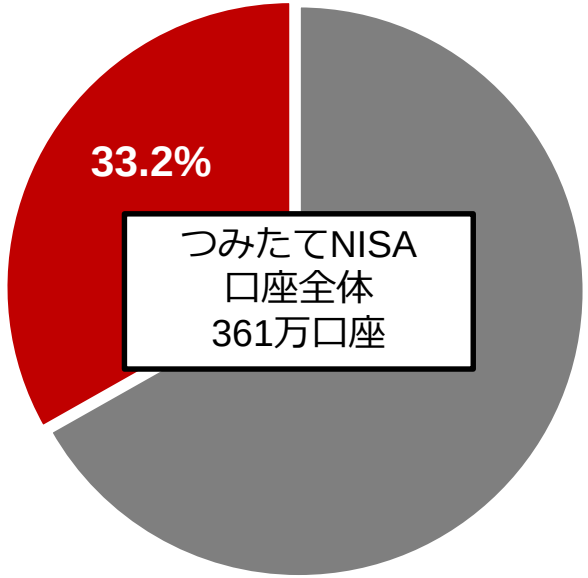
*金融庁 NISA・ジュニア NISA 口座の利用状況調査（2021年3月末時点）より算出

※：金融庁 NISA・ジュニア NISA 口座の利用状況調査（2021年3月末時点）と各社開示資料より当社にて算出

つみたてNISA

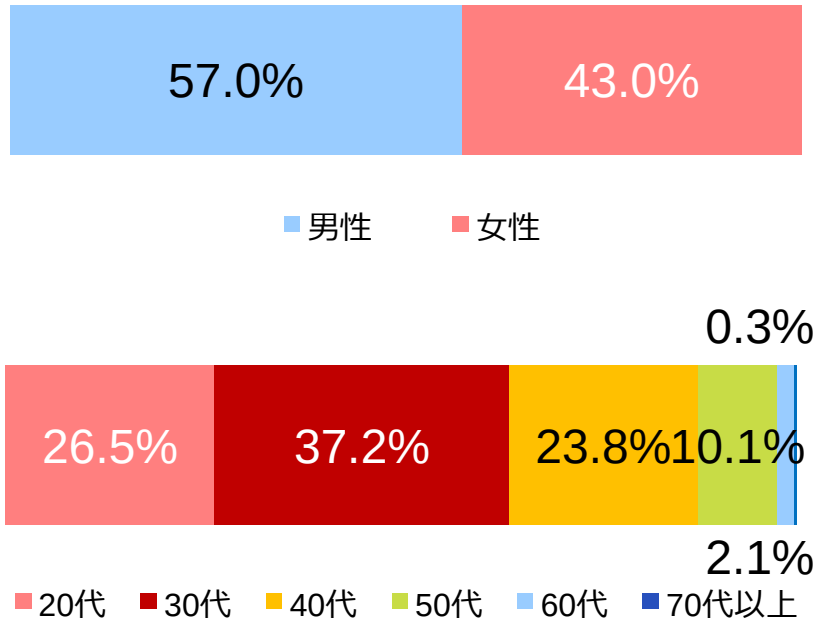
- 金融庁の統計を基に算出した当社のつみたてNISA口座のシェアは、33.2%（21年3月末）と拡大
- 30代以下の若年層が63%を占め、資産形成層が活発に活用
- つみたてNISA口座では、上限に近い3万円超の月額積立設定が約6割

つみたてNISA口座の当社シェア（2021年3月末）

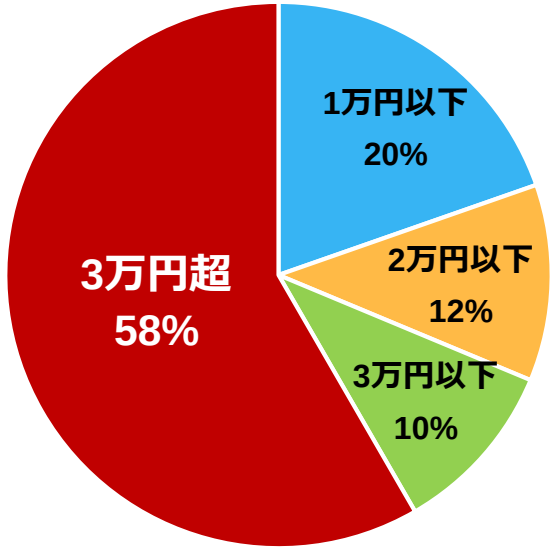


*金融庁 NISA・ジュニア NISA 口座の利用状況調査（2021年3月末時点）より算出

男女別・年代別比率（2021年6月末）



積立設定金額（2021年6月末）



平均積立設定金額：27,557円

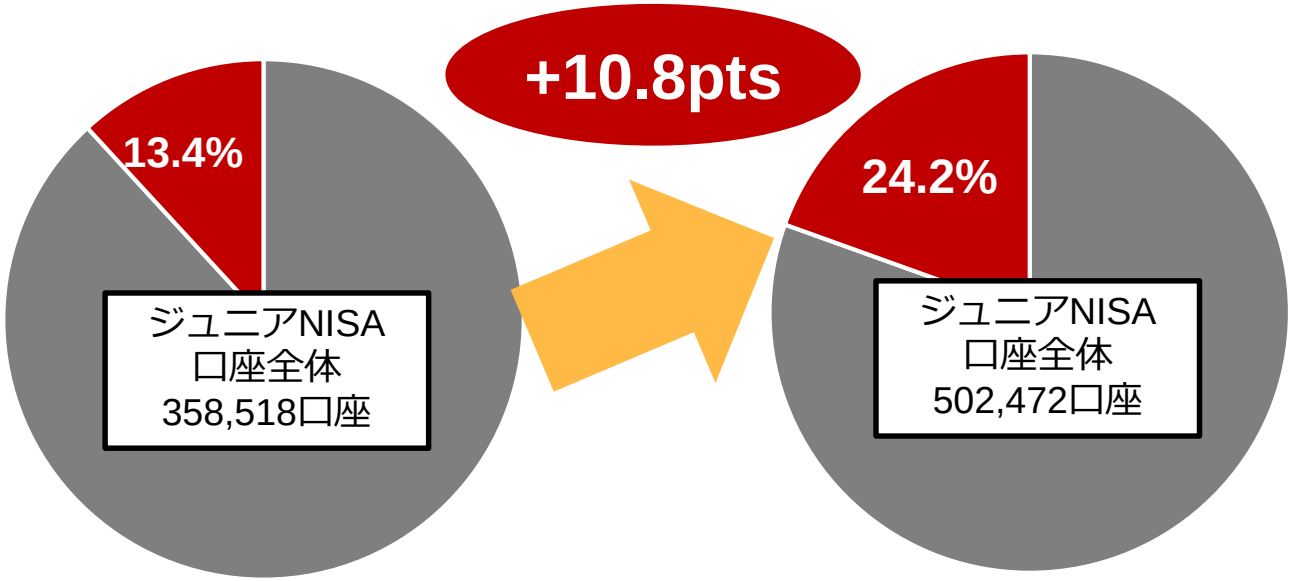
* 楽天証券にて「つみたてNISA」で積立設定をしているお客様（稼働客）について、楽天証券で集計

ジュニアNISA

- 2021年6月末時点のジュニアNISA口座は、15.8万口座（前年同期比＋153.1%）
- 国内シェアは、24.2%（21年3月末）と前年から10.8ポイント増
- つみたてNISAに加え、ジュニアNISAも増加。未成年層の資産形成にも貢献

ジュニアNISA口座の当社シェア

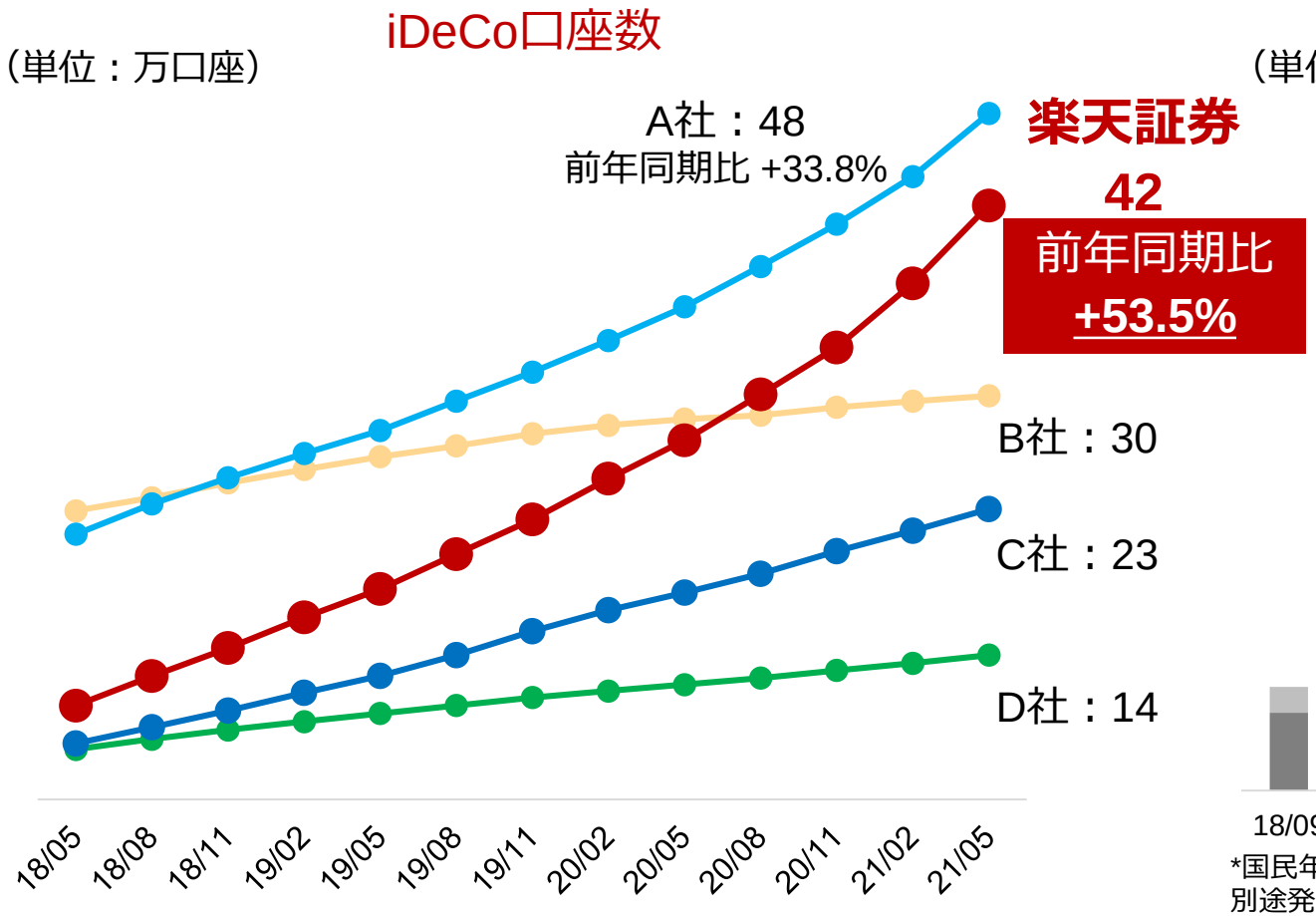
（2020年3月末）　　（2021年3月末）

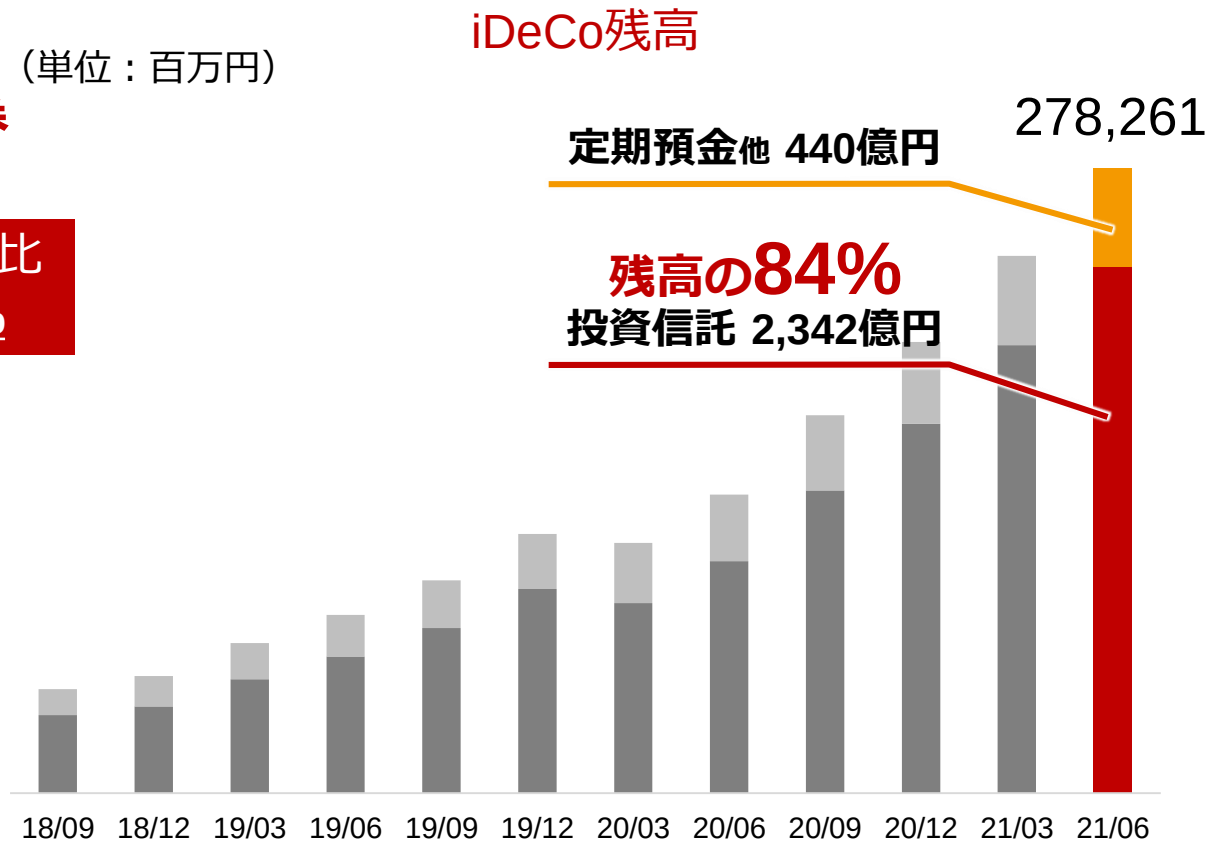


*金融庁 NISA・ジュニア NISA 口座の利用状況調査
（2020年3月末時点、および、2021年3月末時点）より算出

iDeCo（個人型確定拠出年金）

■ iDeCoの加入者、残高は順調に増加。口座数は42万口座を突破し業界2位※

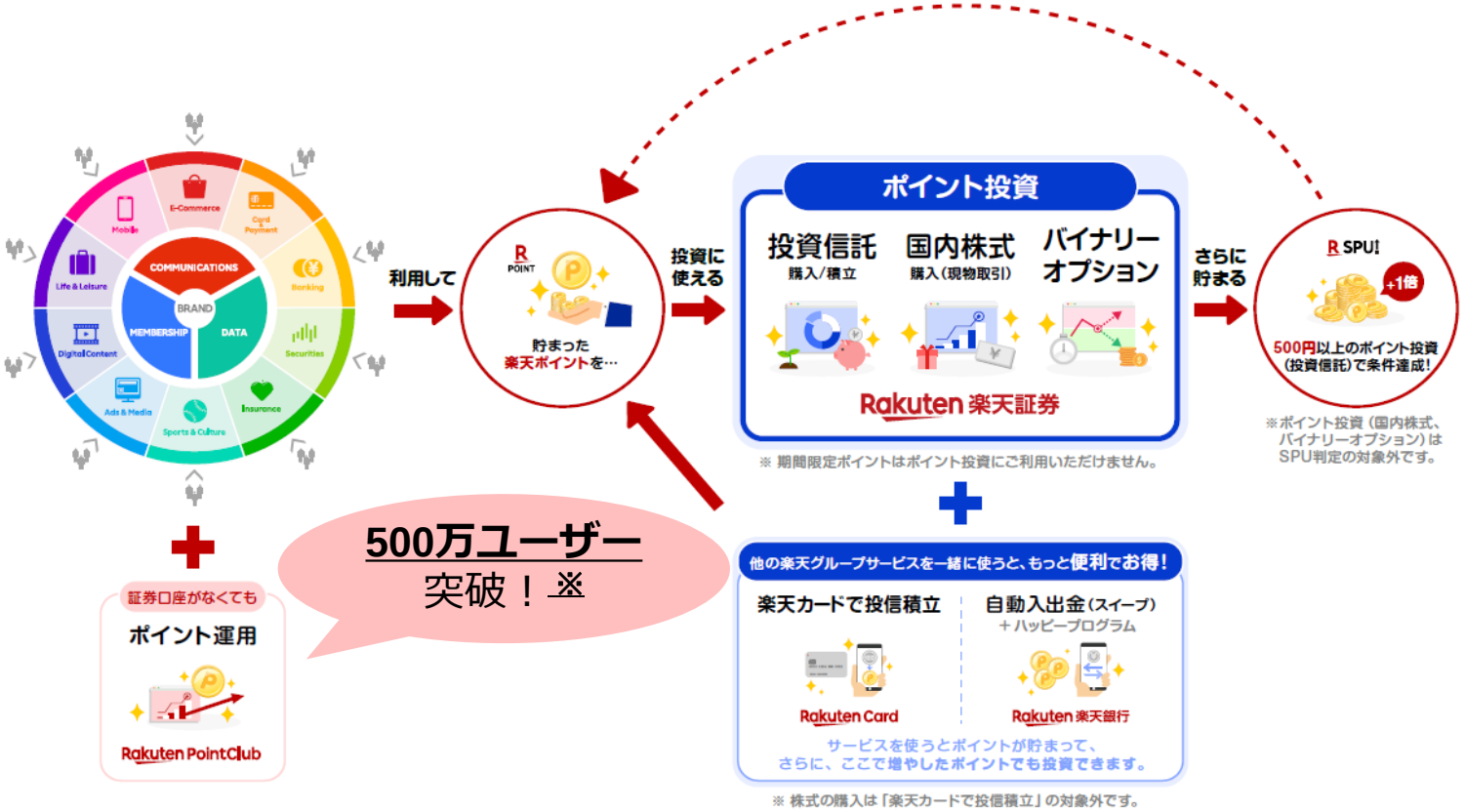




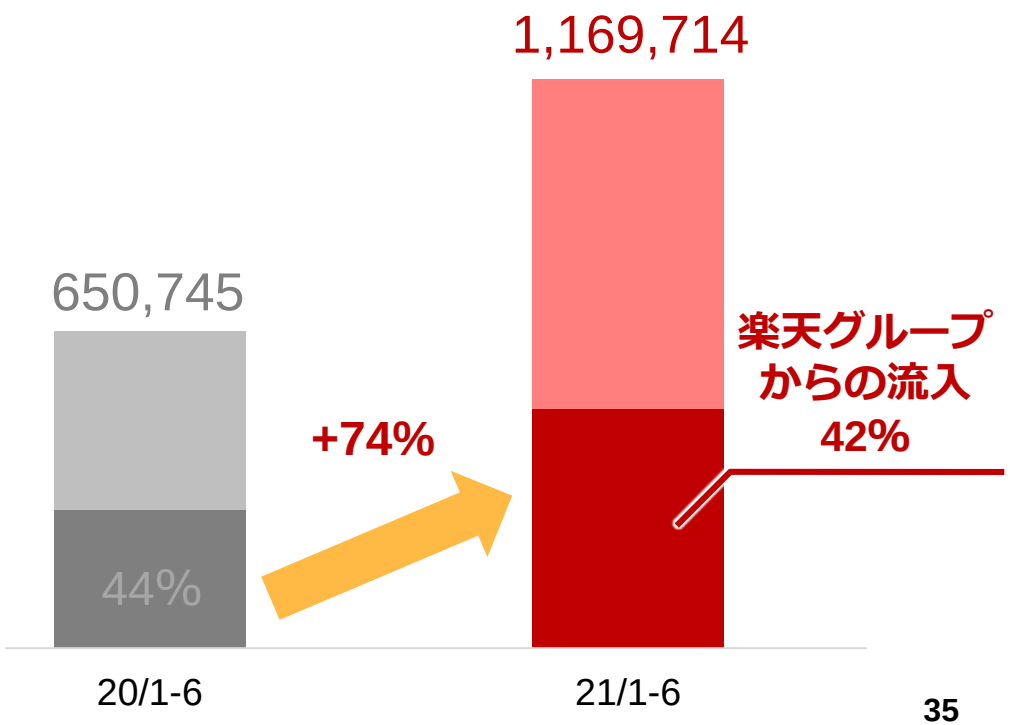
*国民年金基金連合会や事務委託先金融機関（信託銀行）が設定する口座管理手数料等が別途発生します。
過去に加入・移換・運営管理機関変更された方もすべて対象となります。
※：国民年金基金連合会メールマガジンの現存加入者数より（2021年5月時点）

楽天証券のエコシステム連携：“投資”エコシステムを構築

- 「ポイント投資（投資信託）」を2017年8月（積立は2018年9月）に開始して以来、楽天エコシステム（経済圏）との連携サービスを拡充
- 国内株式、バイナリーオプション取引などにも対応。引き続き拡充を計画



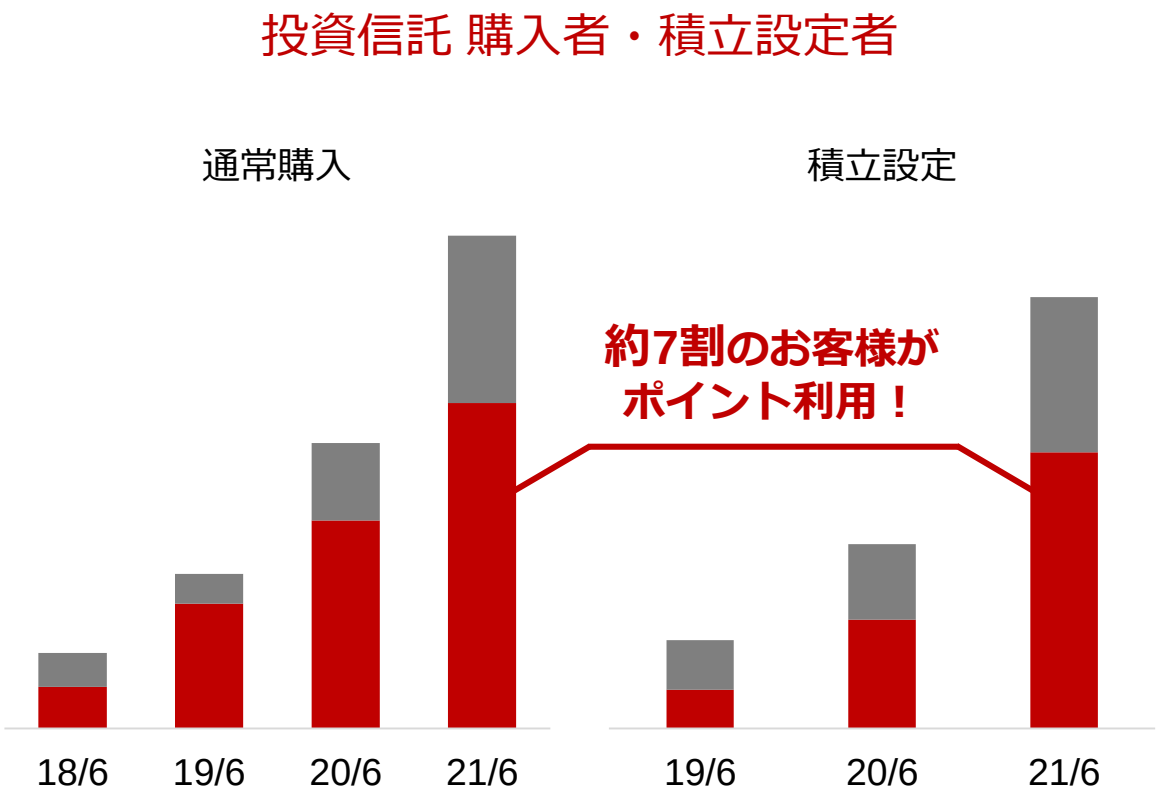
新規口座数 楽天比率



※：2021年7月時点

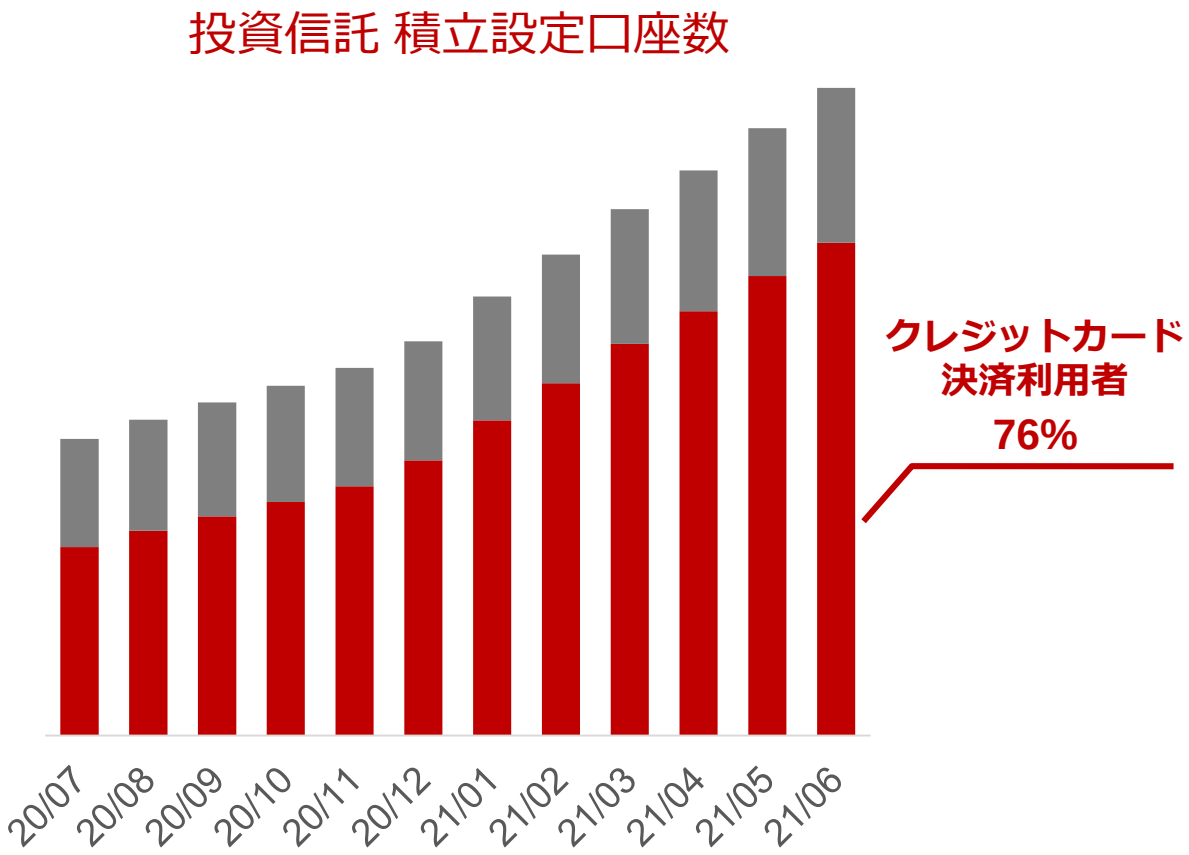
ポイント投資：投資信託の通常購入・積立設定

- 2017年8月に「ポイント投資（投資信託）」を開始し、2018年9月より投信積立での利用開始
- 通常購入・積立設定で約7割のお客様がポイントを利用



楽天カードとの連携：投信積立のクレジットカード決済

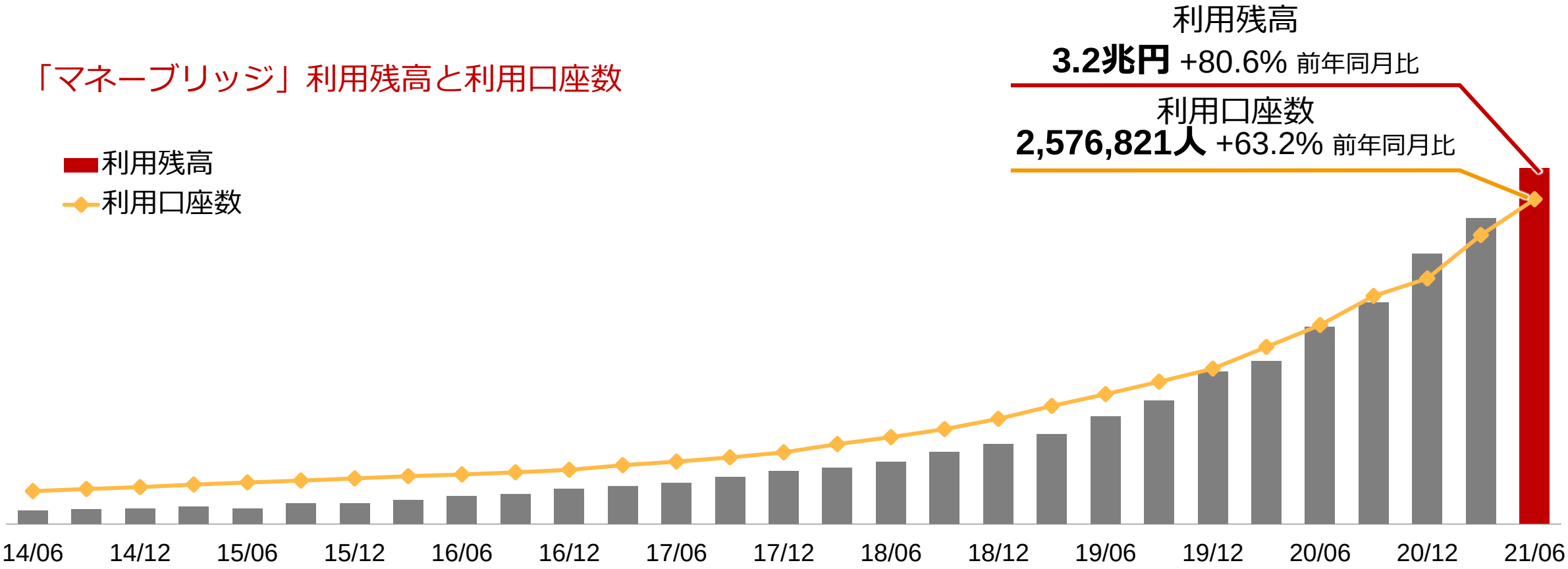
- 2018年10月末より「楽天カード」でのクレジットカード決済サービスを開始
- 「楽天カード」のポイント還元を受けながら投信積立が可能に
- 投信積立を設定しているお客様の76%がクレジットカード決済を活用



楽天銀行との連携：「マネーブリッジ」楽天証券×楽天銀行の口座連携

- 利用残高は前年同期末比+80.6%の3.2兆円、利用口座数は前年同期末比+63.2%の257万人
- 「マネーブリッジ」の登録で、普通預金に年率0.10%（税引後0.079%）の優遇金利適用
- 2021年4月、新たに米国株式取引（円貨決済）にも対応

「マネーブリッジ」利用残高と利用口座数



業界初！投信積立クレカ決済対応のロボアドバイザー「らくらく投資」

- 2021年6月、ロボアドバイザー「らくらく投資」の提供を開始
- 9つの質問に答えるだけで専用ファンドによる最適な投資コースを提案。リスク許容度に適したポートフォリオ運用が少額から可能に
- クレジットカード決済のほか、ポイント投資・NISA・つみたてNISA口座の利用も可能

STEP 1

かんたん診断

年齢やもしものときの資金準備から、あなたの性格や考え方に関する質問まで幅広くご回答いただき、総合的に判断します。

STEP 2

投資コースの提案

STEP1の回答結果を踏まえ、5つの投資コースの中からあなたにぴったりのものをご提案します。投資金額と期間を入力することで、将来のシミュレーションをすることもできます。

STEP 3

積立設定/購入

積立設定や購入をした後は、毎月の資産状況のお知らせサービスや、投資のことを学べるコンテンツなど、充実したサポート機能で、無理なく継続できます。

ロボアドバイザー　「らくらく投資」と「楽ラップ」

■ 2つのロボアドバイザーサービスを通して、幅広いお客様の投資ニーズに対応

らくらく投資

楽天のオトク・税制メリットも享受可能
これまで以上に最初の第一歩に最適

- ✓ 楽天グループのオトクを最大限活用可能
  - ✓ 投信積立「楽天カード」クレジット決済
  - ✓ 「楽天ポイント」の利用・獲得
- ✓ NISA利用で、非課税メリットを享受
- ✓ 少額から運用が可能に
  - ✓ 100円から購入・積立が可能

楽ラップ

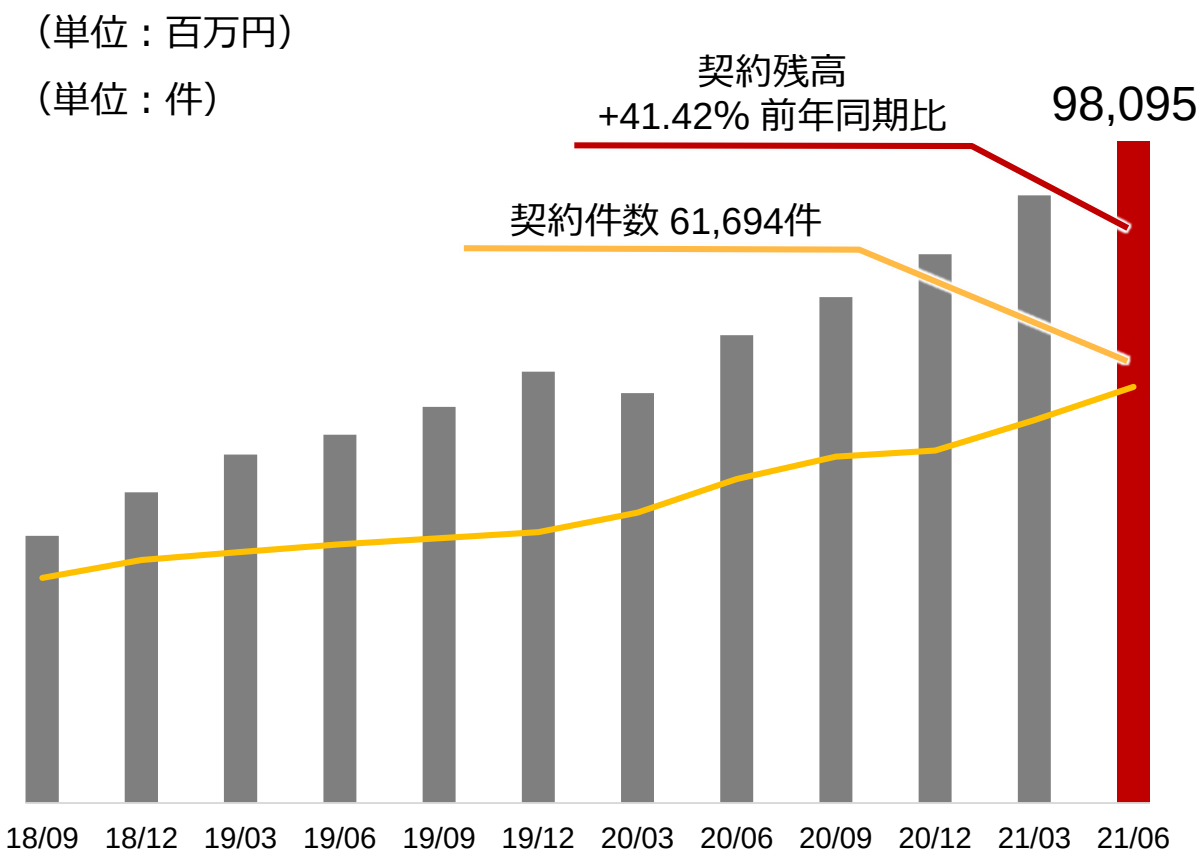
投資一任型・世界的運用助言をもとに
より細かい運用ニーズに対応

- ✓ 投資一任型のおまかせ運用
- ✓ 世界的資産運用会社の投資助言を反映
  - ✓ マーサー・インベストメンツの高品質運用
- ✓ 下落ショック軽減機能（DRC）付き
  - ✓ 大きな下落を回避
- ✓ 詳細な運用レポートの還元

- ✓ 質問に答えるだけで最適な投資コースを提案
- ✓ ポートフォリオ運用が少額・手軽に可能
- ✓ 自動リバランスもあり、おまかせ運用が可能

ロボアドバイザー　ラップサービス「楽ラップ」

- 契約数・積立設定件数・契約残高ともに順調に増加。残高は980億円を突破
- 2017年11月より積立サービスを開始し、手軽に“時間分散投資”が可能に



楽ラップは1万円から1円単位で可能※

毎月自動で追加投資で手間いらず

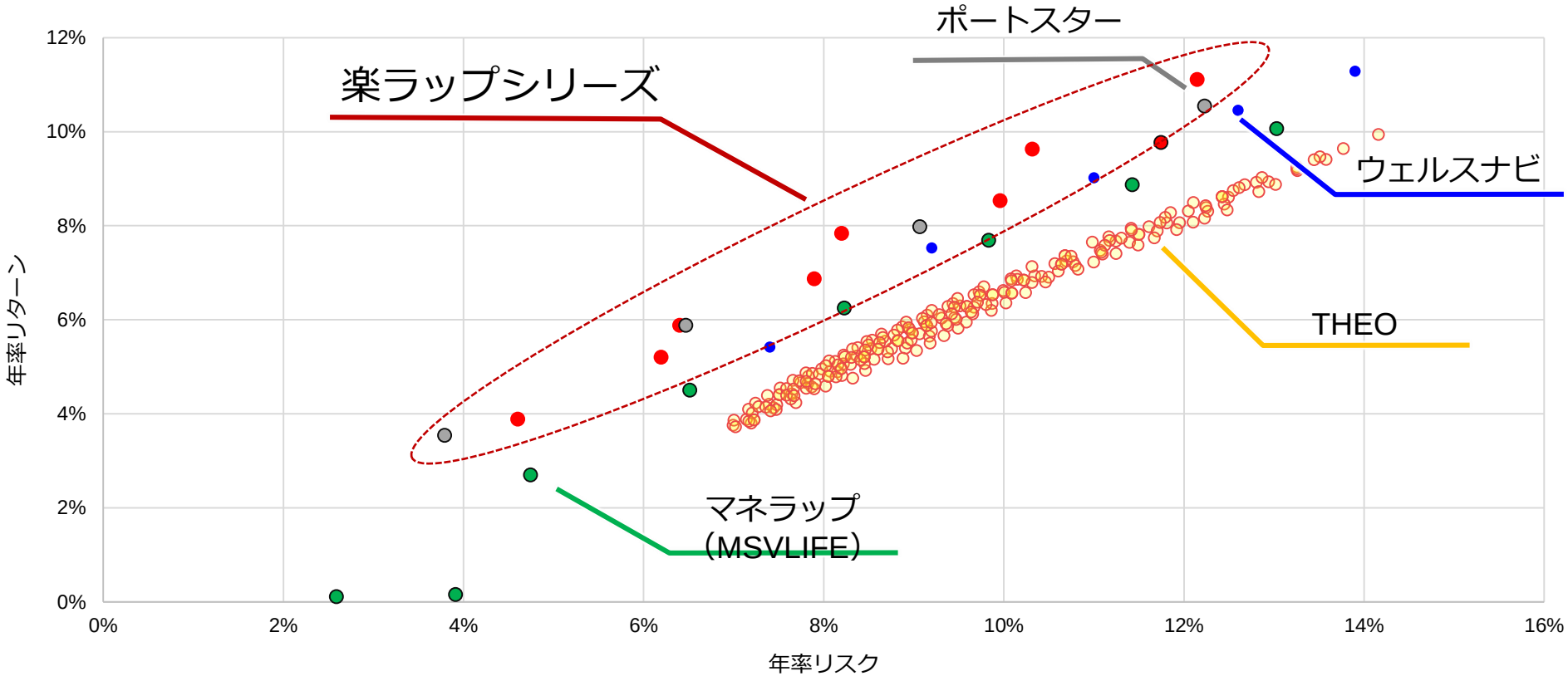
積立をする日（積立指定日）は、10日または25日（休業日の場合は翌営業日）から選択可能

※：積立をご利用いただくには、事前または同時に楽ラップをお申込み（最低10万円）いただく必要があります。積立のみをご利用いただくことはできません。

ロボアドバイザー　ラップサービス「楽ラップ」

- 楽ラップは各社が提供するロボアドバイザーのなかでも、好運用効率を維持
- シャープレシオは高い水準を継続

＜リスクリターンの分布＞



*集計期間：2016年7月～2021年6月、2016年1月～2021年6月(ｳｪﾙｽﾅﾋﾞ)

各社開示情報から月次データを使用し、当社集計

3. 戦略・施策

a.資産形成サービス

b.IFAビジネス

c.トレーディングサービス

d.その他事業に関する参考資料

IFAビジネス

- 準富裕層・富裕層をターゲットとするB2B2Cビジネスである**IFA**ビジネスを展開
- IFAへのプラットフォームを提供

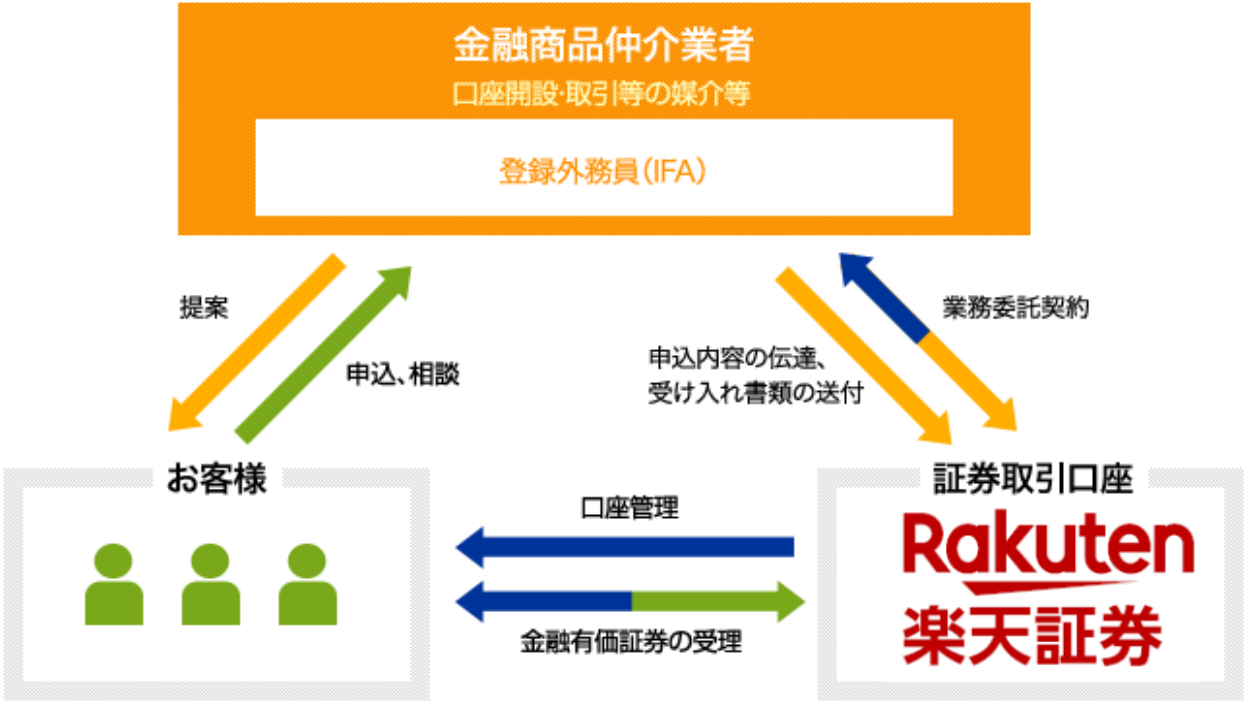
お客様は「お金のことで悩みたくない」

■金融サービスに求められていること

お金に関する全てのことをワンストップで相談できる
ファイナンシャルアドバイザーが求められている。

✓ 契約IFA社数: 108
✓ 契約アドバイザー数: 1,821

金融商品仲介業の仕組み



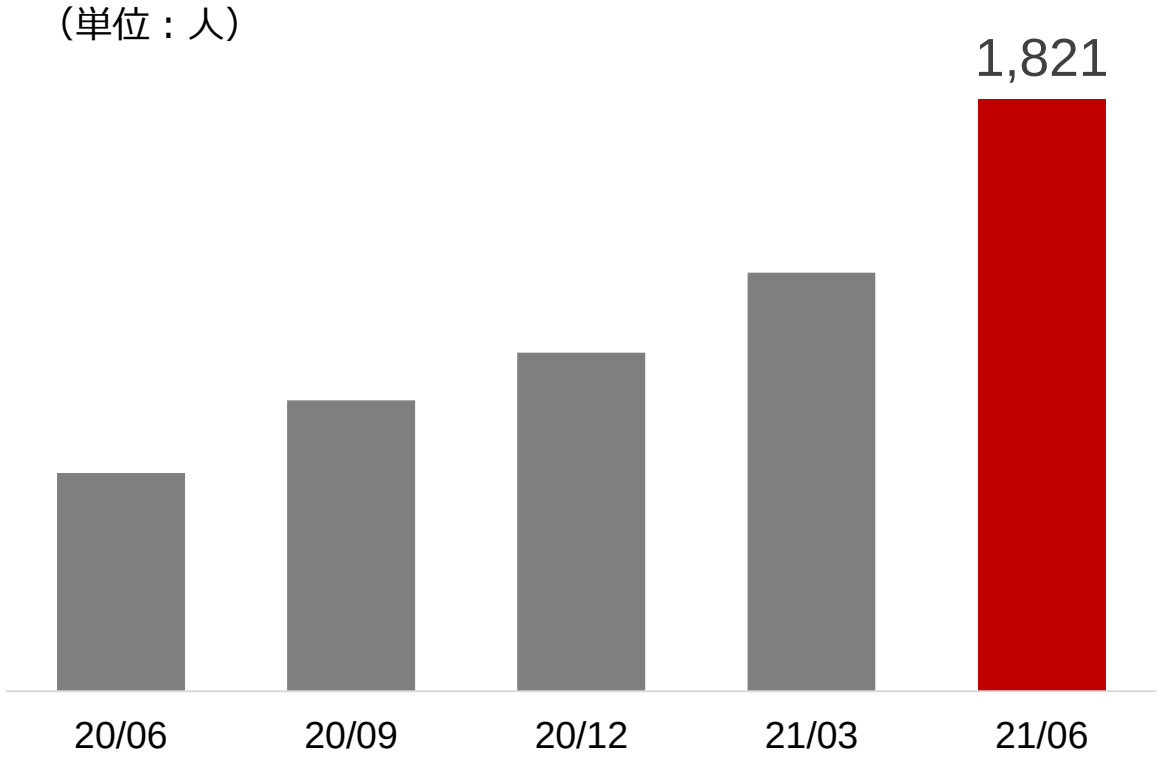
※楽天証券IFAサービスをお受けになるためには契約金融商品仲介業者を通じた専用の口座を開設していただく必要があります。同口座はインターネット取引用の一般口座に比べ手数料等のお取引条件が異なります。

（2021年6月末時点）

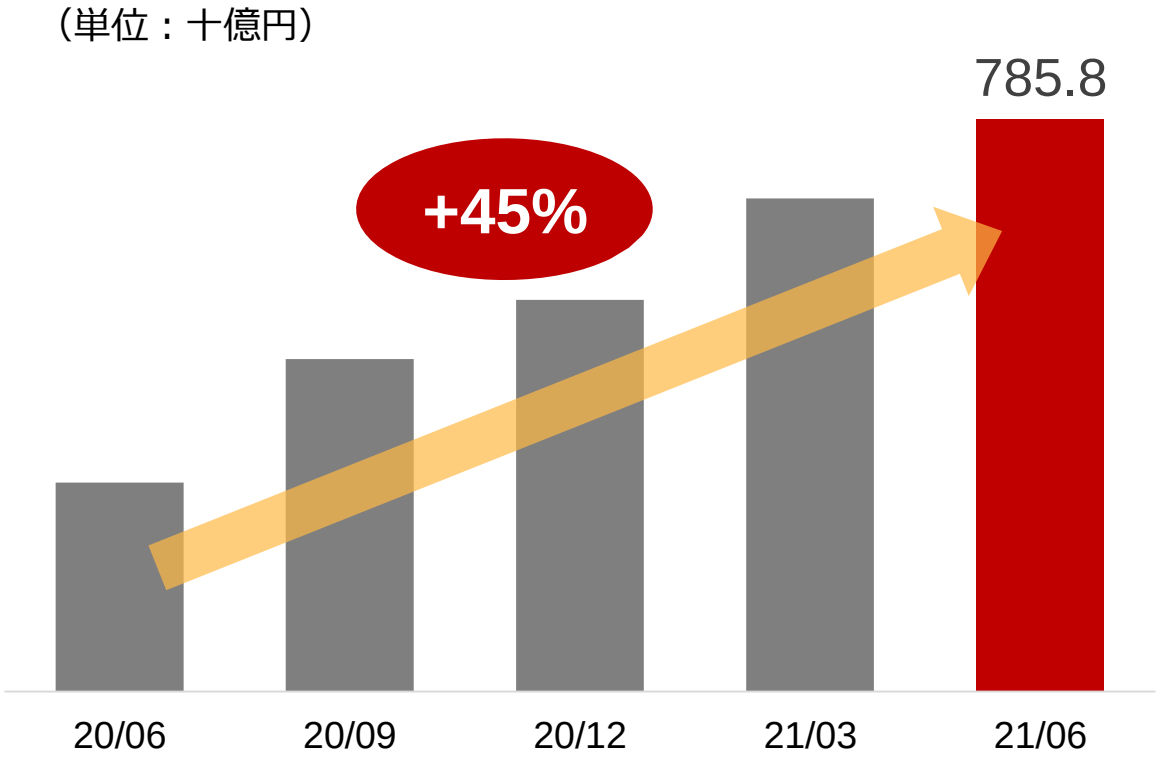
IFAビジネスの状況

- 契約アドバイザー（IFA）は、大手証券出身者の登録を中心に増加し、6月末時点で1,821名
- 継続的な資金流入により、預り資産は前年同期比+45%の7,858億円

契約アドバイザー数



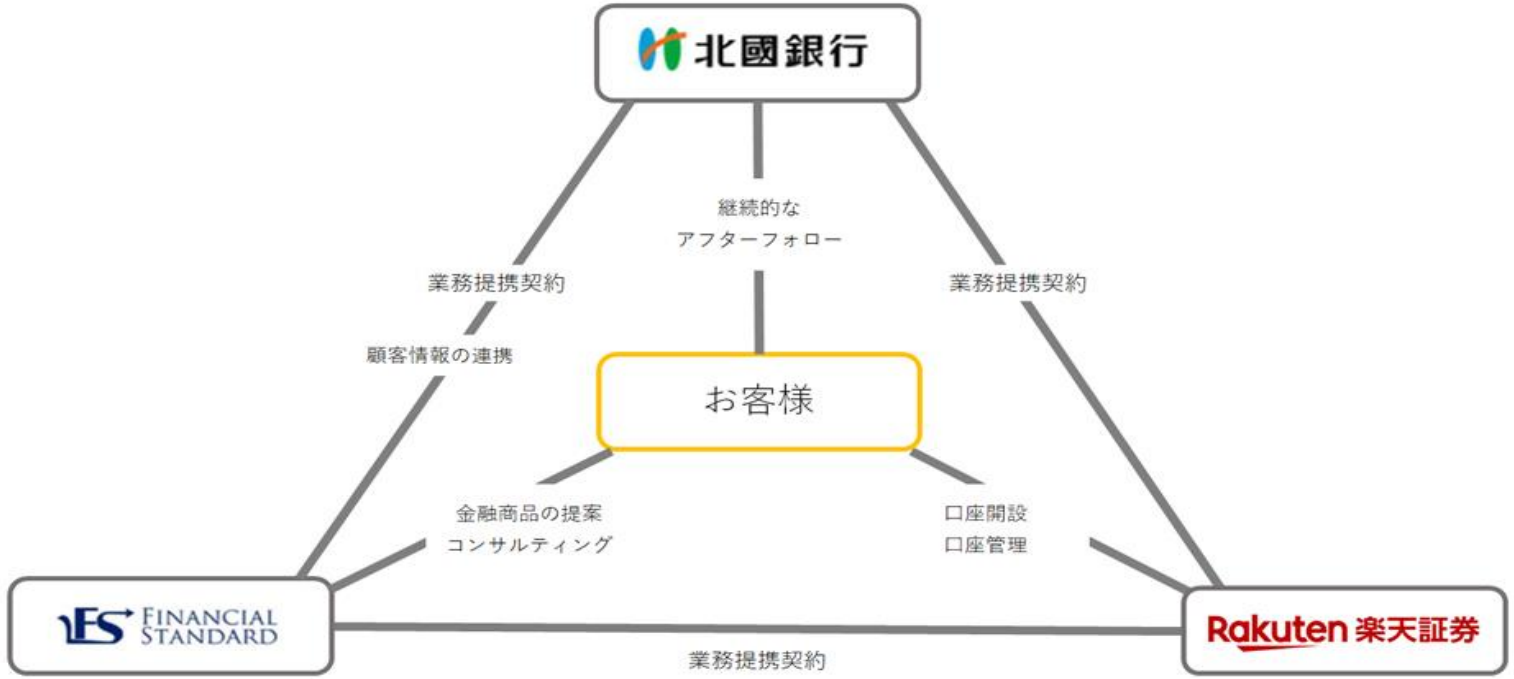
預り資産残高



北國銀行とファイナンシャルスタンダードとの「共同運営サービス」

- 北國銀行（地域金融機関）は、石川県を代表する銀行として個人・法人に幅広い顧客基盤を有する
- ファイナンシャルスタンダードはIFA事業者として個人の資産運用アドバイスに高い実績
- 北國銀行のお客様に対しファイナンシャルスタンダードにより、専門的かつ包括的な資産運用・資産管理にかかるアドバイスを提供

【共同運営サービス イメージ図】



個人とIFAをつなぐ新サービス「お金の健康診断」提供開始

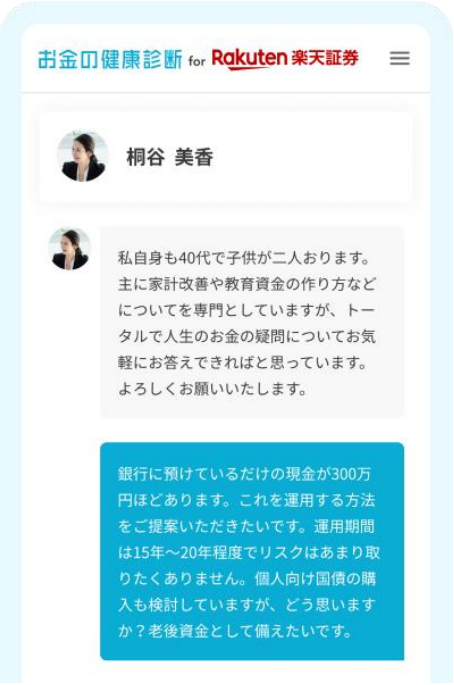
- 「お金の健康診断 for 楽天証券」は、株式会社400Fとのタイアップ。お客様が当社契約IFAの中から生涯の「お金の主治医」となるアドバイザーを見つけられる
- 診断結果や最適なファイナンシャルアドバイザーへの紹介を通じて、お客様のライフプランやポートフォリオに関する課題を解決する仕組み作りを目指す

Rakuten 楽天証券 × 400F FOUR HUNDRED FRANC × 契約IFA

STEP1
お金の健康診断

STEP2
登録IFAからコメント

STEP3
チャットで投資相談



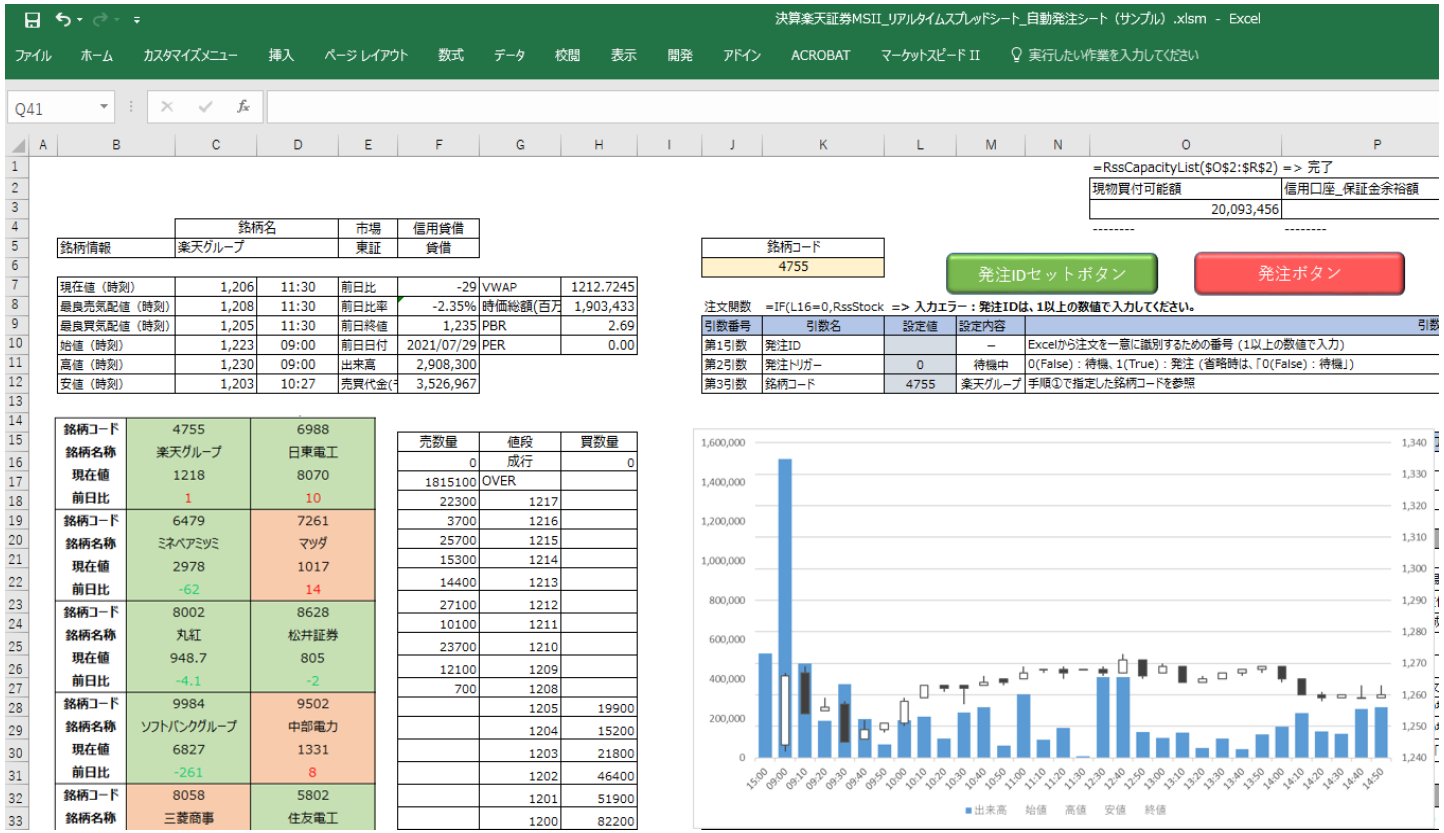
3. 戦略・施策

a.資産形成サービス
b.IFAビジネス
c.トレーディングサービス
d.その他事業に関する参考資料

「MARKET*SPEED* II®」にリアルタイムスプレッドシート（以下「RSS」）を導入

- 2021年6月、「MARKET*SPEED* II®」（以下「MSII」）でRSSを実現
- RSSを活用することでエクセル関数のみで、情報取得から発注まで思い通りのトレーディング画面が実現可能

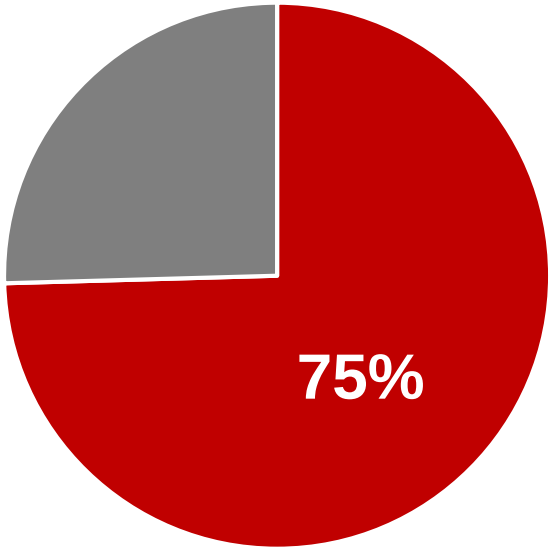
【RSS サンプルシート イメージ】



PTS（私設取引システム）

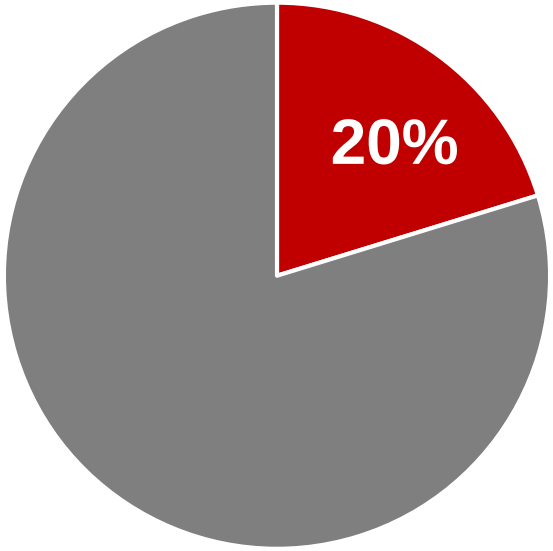
- SOR（Smart Order Routing）を提供。東証・PTSの2市場・ダークプール※1から株価を自動的に比較、最良気配の市場へ発注
- 2021年1-6月における、全約定（現物・信用）の75%がSOR経由の約定。また、全約定に占めるPTS等※2における売買代金は20%
- 2021年1-6月におけるPTS等※2 による価格改善効果（現物・信用）は26億円。前年同期の1.6倍

株式売買代金に占める
SOR約定の割合



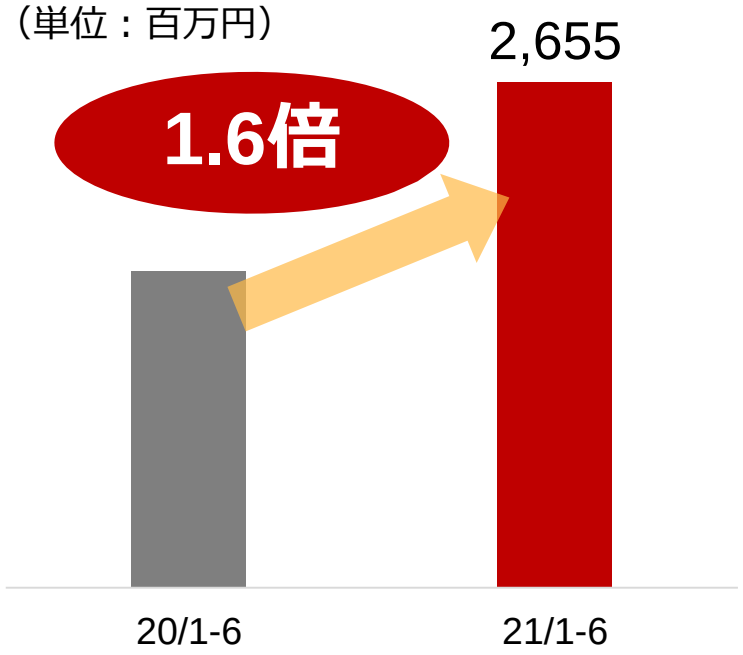
*2021年1-6月実績

株式売買代金に占める
PTS等の割合



*2021年1-6月実績

PTS等による価格改善効果



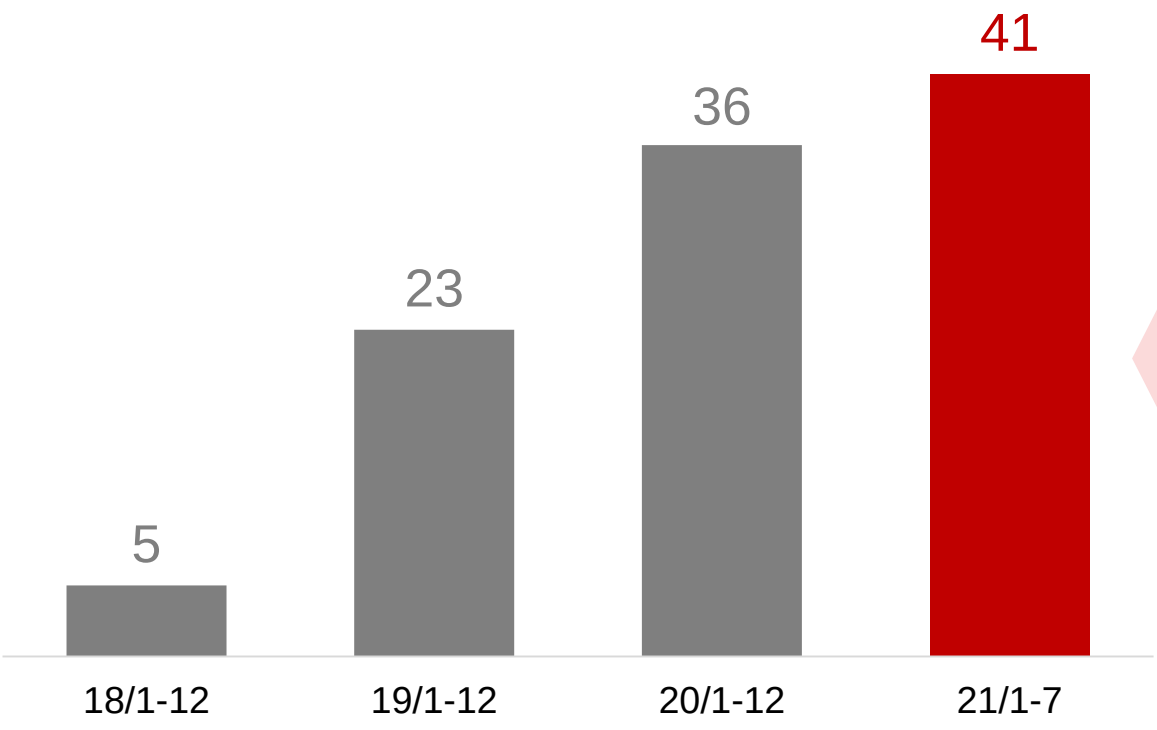
※1：東京証券取引所に加え、「ジャパンネクストPTS」、「チャイエックスPTS」、「Kai-X」市場を比較
※2：当社で取り扱いのPTSおよびKai-Xを指します。なお夜間PTSは2019年3月18日（月）から取り扱いを開始

IPO

- お客様からのIPO取扱いのご要望に応え、2018年より引受業務を再開
- IPO引受件数は年々増加。2021年（1–7月）の引受関与率は62%で業界4位※

IPO引受件数

（単位：件数）



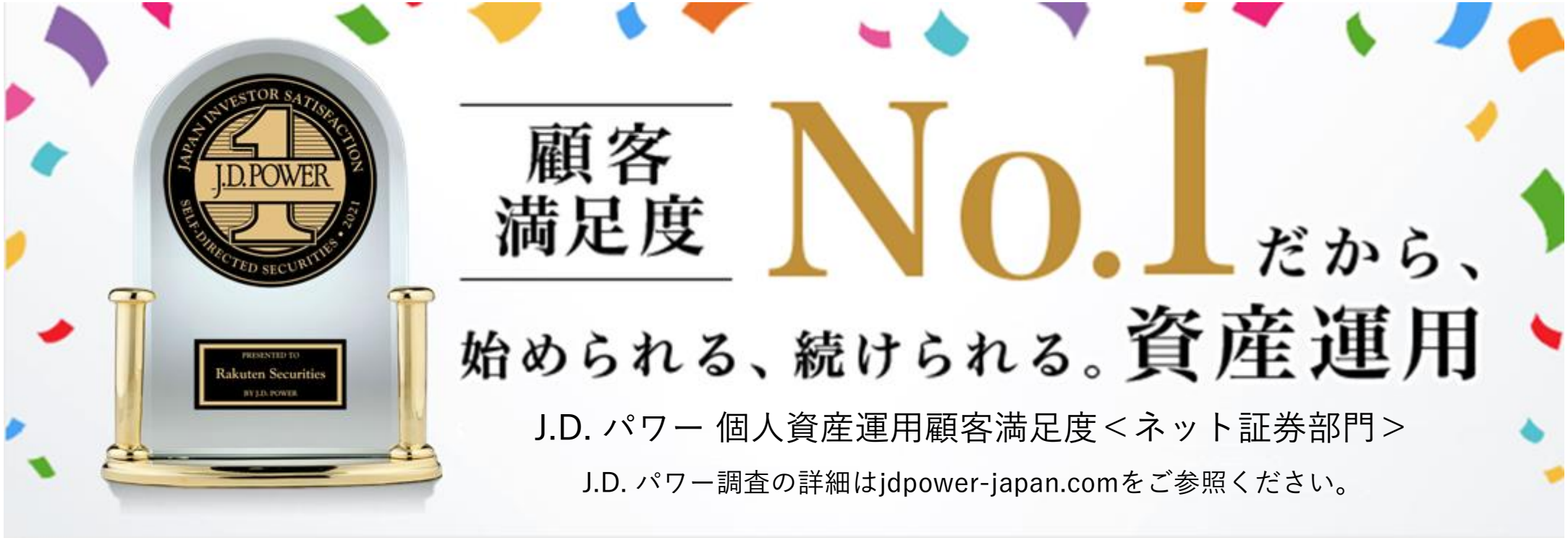
2021年 IPO引受件数ランキング

#	社名	引受件数	関与率
1	SBI証券	65	98%
2	みずほ証券	46	70%
3	SMBC日興証券	44	67%
4	**楽天証券**	**41**	**62%**
5	野村證券	38	58%
6	マネックス証券	29	44%
7	岩井コスモ証券	25	38%
8	松井証券	24	36%
9	いちよし証券	22	33%
9	大和証券	22	33%
9	岡三証券	22	33%

※：2021年7月21日時点

受賞： J.D. パワー 顧客満足度No.1

- J.D. パワー ジャパンが2021年7月に発表した「J.D. パワー2021年個人資産運用顧客満足度調査」ネット証券部門において、総合評価で第1位を受賞※



※：2021年調査においては、同率で2社が1位を受賞

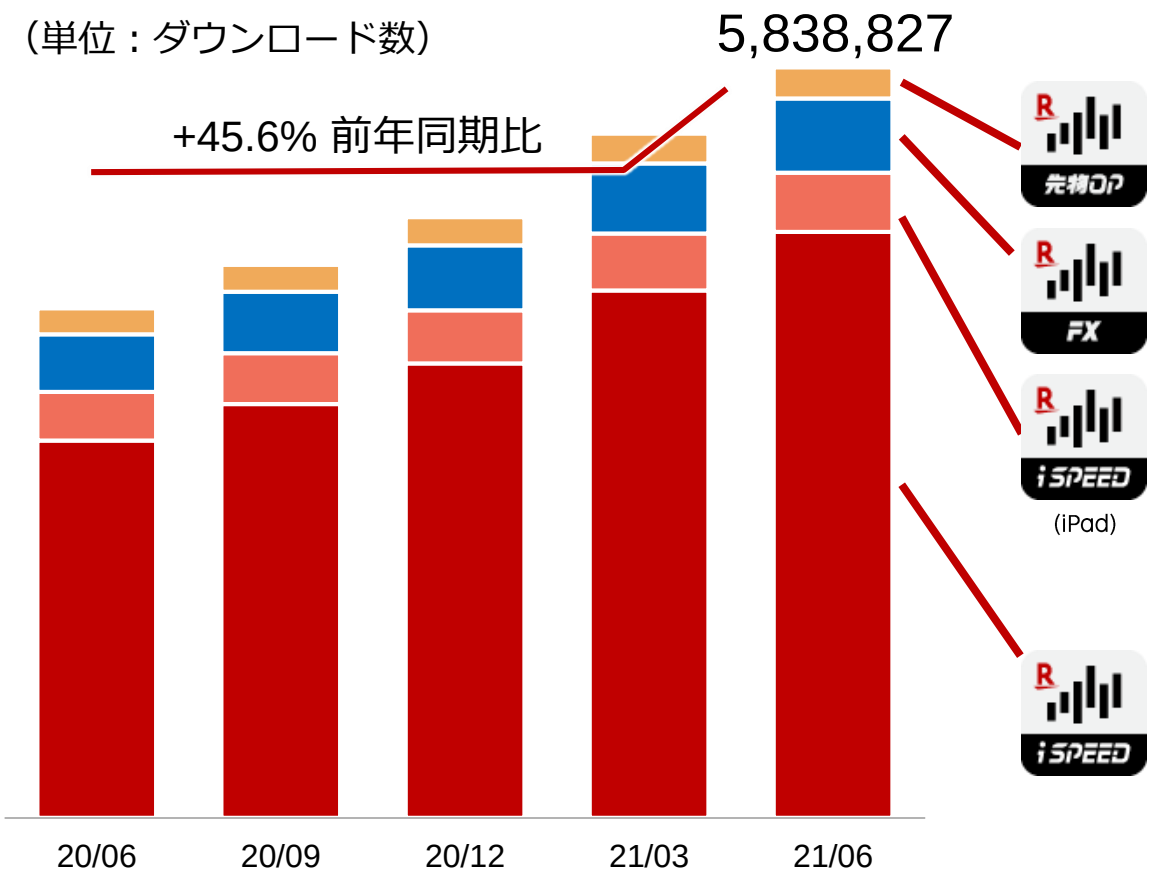
3. 戦略・施策

a.資産形成サービス
b.IFAビジネス
c.トレーディングサービス
d.その他事業に関する参考資料

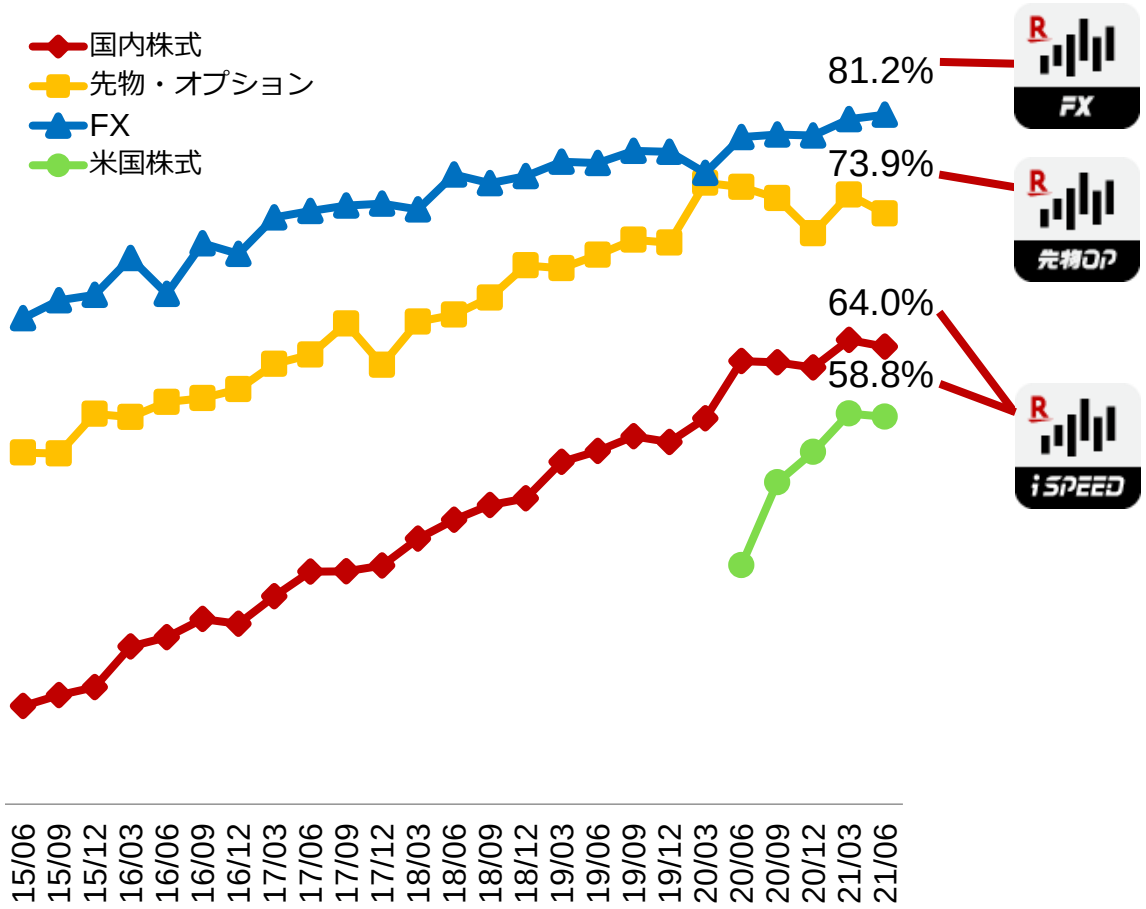
スマートフォンアプリ「iSPEED®」

■ スマートフォン向けアプリ「iSPEED®」シリーズは、2021年6月に累計580万ダウンロード突破

スマートフォンアプリダウンロード数推移



各取引におけるスマートフォン利用者の割合



*スマートフォンにて注文したユニークユーザ数をもとに当社にて集計

トウシル

- 「トウシル」は2017年の開始以来、“お金と投資をもっと身近に！”をコンセプトに、マーケットや注目の銘柄の解説のみならずライフプランや生活のお役立ち情報など幅広い情報を発信
- 2020年12月に月間PV数2,100万を突破後、高水準をキープ。投資の大衆化が進む中、動画ユーザーが拡大。YouTubeチャンネル登録者数は2021年7月末に8.9万超に拡大

ユーザー数
500万超
*2020年12月時点

PV数
2,100万超
*2020年12月時点

記事合計
3.1万件

YouTube登録者数
8.9万超

毎日配信
10記事以上

YouTube視聴回数
770万回

YouTube専用チャンネル

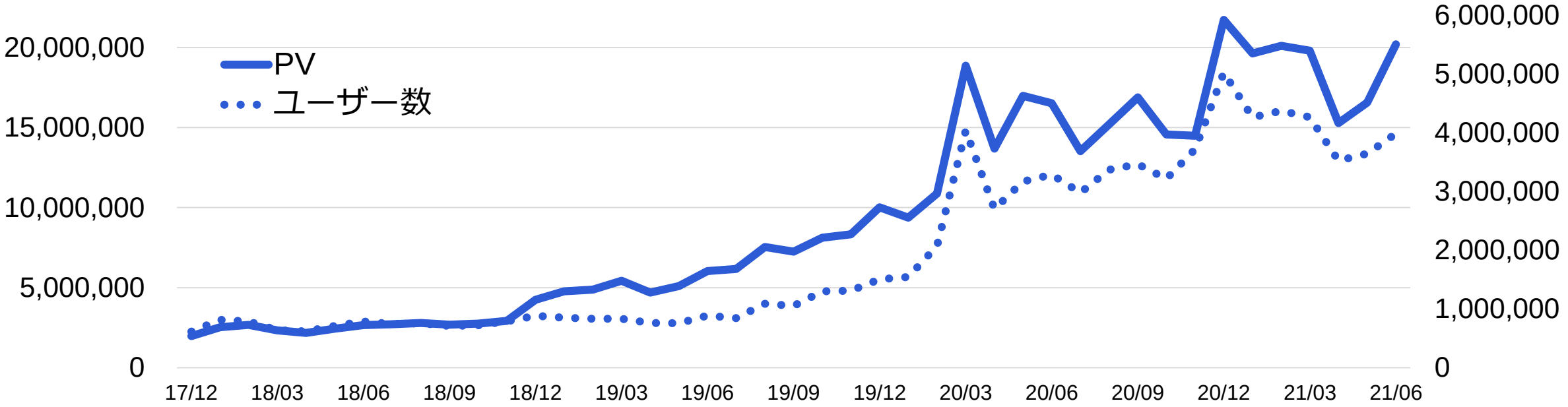
iDeCo、一般NISA、つみたてNISAの使い分け(山崎 元)

【3分でわかる投資信託】ゼロから始める！投資信託（その１：仕組み編）

*2021年7月時点

トウシルの月間PVとユーザー数の推移

- PVはスタートから20倍、ユーザー数は18.8倍に
- マーケットが年末高となった2020年12月に2,100万PVを突破し、その後も堅調に推移



17/08
PV: 1,019,557
ユーザー数: 211,184

21/06
PV : 20,202,177
ユーザー数: 3,987,228

海外展開の状況

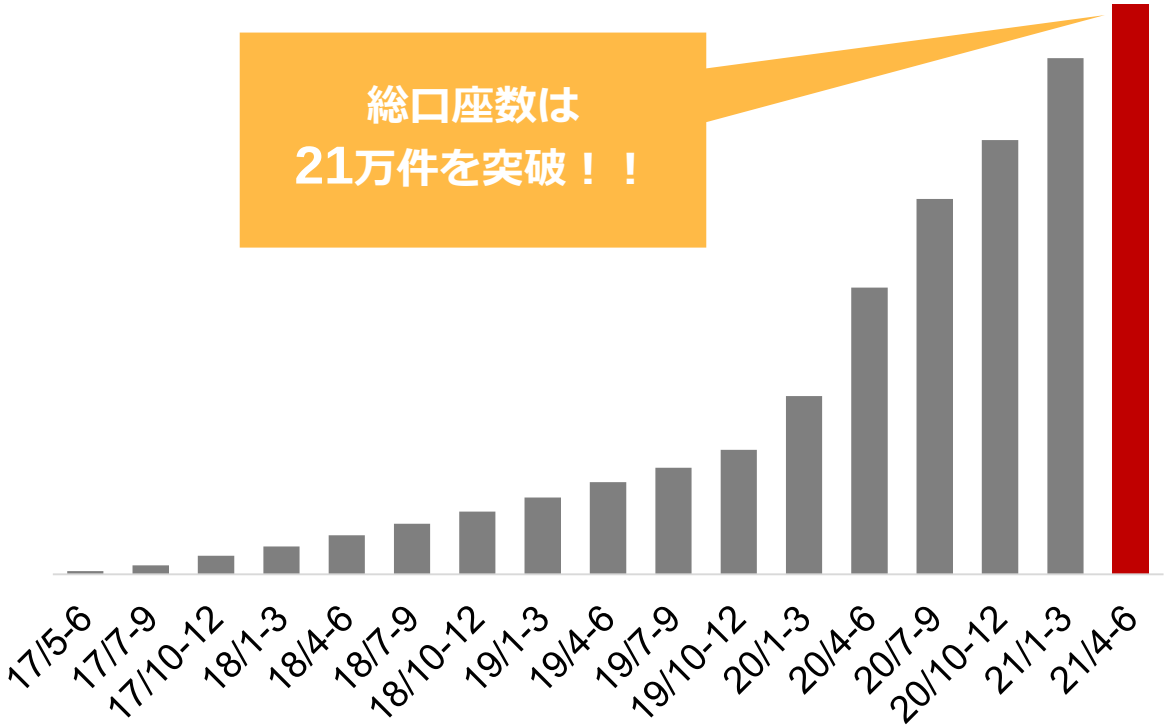
■ 海外事業を継続的に強化

1	Rakuten Securities 樂天證券香港	✓ 香港 ✓ 2015年に買収・子会社化 ✓ FX取引
2	Rakuten Trade	✓ マレーシア ✓ 2016年に合弁会社設立 ✓ 株式取引
3	Rakuten Securities Australia	✓ オーストラリア ✓ 2016年に買収・子会社化 ✓ FX取引/CFD取引
4	Rakuten Securities Bullion 樂天證券金業香港	✓ 香港 ✓ 2019年に設立 ✓ 金銀レバレッジ取引

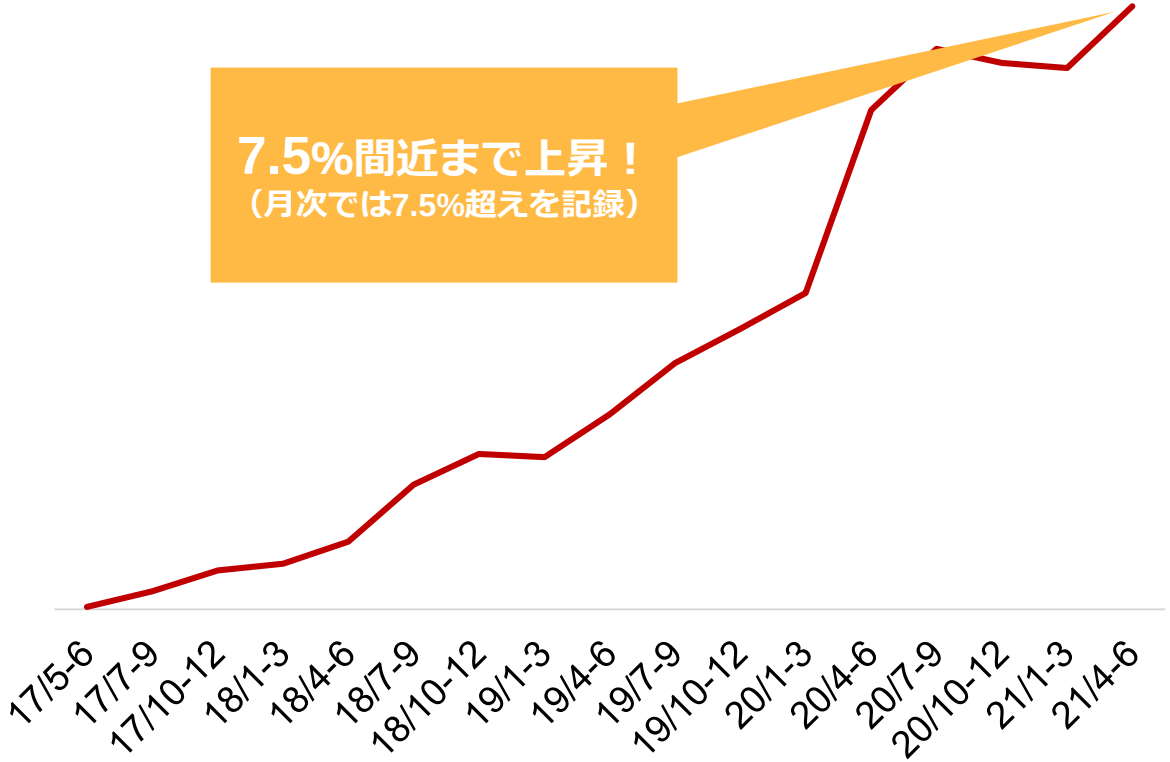
Rakuten Tradeの成長

- マレーシアの大手投資銀行Kenanga Investment Bank Berhadとの共同出資により同国初のオンライン専業証券であるRakuten Tradeをローンチ
- 2020年以降、口座開設数や売買代金が急成長し、2021年6月末時点において経常的な月次黒字化を実現

口座数 ※1



リテールマーケットシェア ※2



※1：口座数は現物取引口座、 信用取引口座、 コントラ取引口座の合計口座数
※2：Bursa Malaysiaにおける個人委託売買代金に占めるRakuten Trade社のシェア

本資料に記載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式もしくは親会社である楽天グループ株式会社の発行する株式、その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おきください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

楽天証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者、銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第302号、確定拠出年金運営管理機関 登録番号774

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

Rakuten 楽天証券